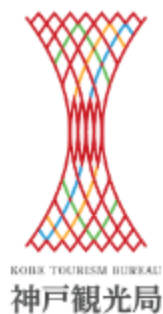


神戸観光局マーケティング情報 マンスリーレポート (2023年10月号)

2023年10月31日



1. 今月のトピックス

- ・ (DBJ・JTBF) アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査2023年度版 P.3～6
- ・ 7～9月 訪日外国人消費動向調査 (速報値) P.7～9
- ・ 神戸観光局SNS情報 P.10
- ・ 今月号の注目数字 (国内観光) OTAモニタリング P.11～13

2. 定点観測 ～観光庁など統計データより～

- ・ 延べ宿泊者数の推移 (全国、兵庫県) [推計値] P.15～16
- ・ ホテル平均稼働率 P.17

3. インバウンドに関する情報

- ・ 2023年月別訪日外客数 及び 各国・地域別の状況 P.19～20
- ・ 主要ターゲット国の旅行行動傾向分析 ～インドネシア～ P.21

4. 交通機関に関する情報

- ・ 関西国際空港・神戸空港の利用状況 P.23
- ・ 関空国際線就航状況・入国状況 P.24
- ・ クルーズ船寄港状況 P.25
- ・ クルーズ船 11月の入港予定情報 P.26

5. 神戸市内観光に関する情報 ～神戸観光局オリジナルデータ～

- ・ 市内観光案内所 観光客案内件数、対応概況、国籍別対応状況 P.28～30
- ・ 主要市内観光施設来場者数 P.31
- ・ 所管施設入館者数 (金の湯・銀の湯・萌黄の館) P.32
- ・ 神戸市内大型施設の主な催事情報 (11～12月) P.33

- 参考資料集 P.34～

※観光統計情報については、統計の種類によって集計結果が配信されるタイミングに差が生じます。
本レポートではできる限りタイムリーな配信に努めてまいります。内容によって取扱い月が異なります。



今月のトピックス

(1) 調査概要

・毎年実施されているDBJ（日本政策投資銀行）・JTBF（日本交通公社）の「アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査」について、最新の2023年度調査の一部をご紹介します。（調査結果詳細は、出典元よりご確認ください。）

- ◆ 実施期間 2023年7月6日(木)～2023年7月14日(金)
- ◆ 調査地域 アジア：韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア
欧米豪：アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランス（12ヶ国・地域）
- ◆ 対象者 20歳～79歳の男女、かつ、海外旅行経験者（上記各地域に居住する住民計7,414人）

(2) 調査結果

■ 世界の海外旅行 回復状況

【海外渡航者数の回復状況】

海外渡航者数の回復状況※1

(単位：%)

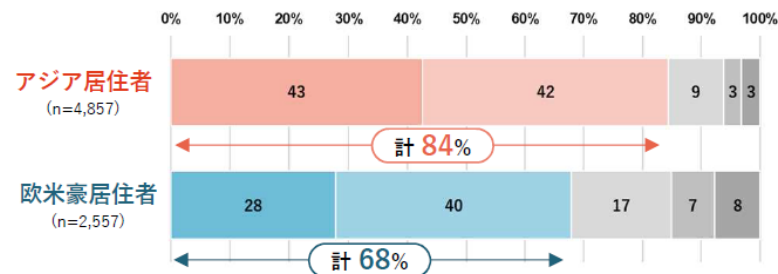
地域	比較月	海外旅行回復状況（対2019年同月比）
韓国	7月	82%
台湾	6月	72%
香港	7月	78%
シンガポール	7月	86%
アメリカ※2	6月	110%
オーストラリア	6月	92%
イギリス	3月	80%

▲海外渡航者数の回復状況は、先行して回復していた欧米豪にアジアが追いつき、同水準まで回復という結果に。

【海外旅行の検討状況】

全員 向こう1年の海外旅行の「予定・検討」状況
(回答は1つ)

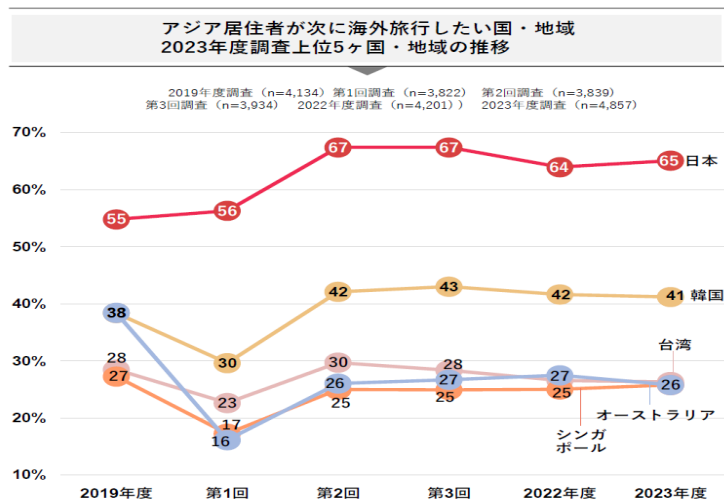
- 海外旅行を既に予定している
- 海外旅行を検討している
- 海外旅行したいと思うが、実施は難しいと思う
- 海外旅行したいと思わない
- わからない



▲向こう1年の海外旅行の「予定・検討」状況は、欧米豪よりもアジアの方が高水準。なお、資料には掲載していないが、海外旅行の予算・滞在日数ともに、2019年と比較するとアジアを中心に増加・長期化の傾向が出ている。

「次に観光旅行したい国・地域」 日本が1位に

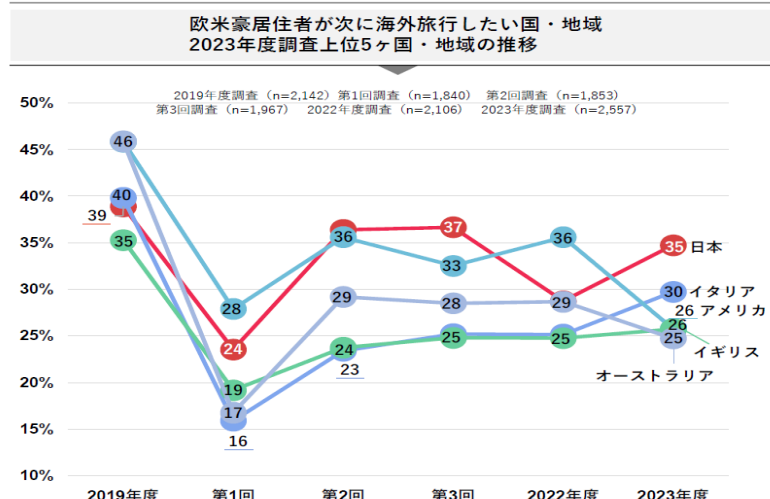
【アジア】



▲アジアでは引き続き日本が高水準で1位に。

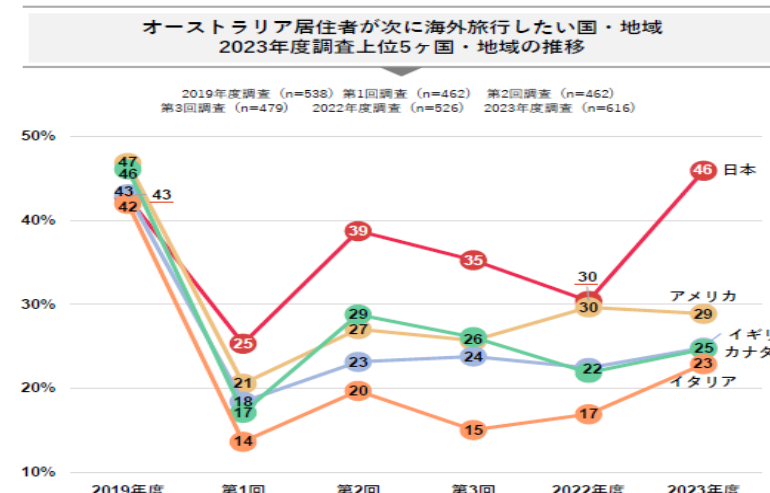
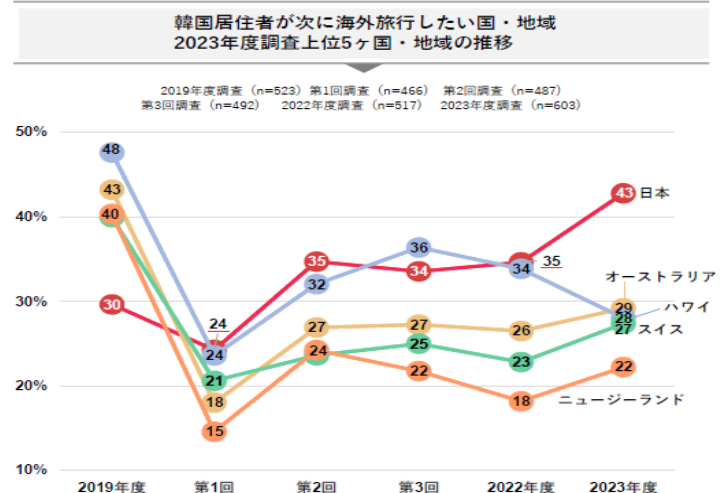
▼韓国では、日本の人気急上昇中。

【欧米豪】



▲欧米豪では昨年度2位から、1位に振り返り。

▼オーストラリアでは日本人気が群を抜いて高くなった。

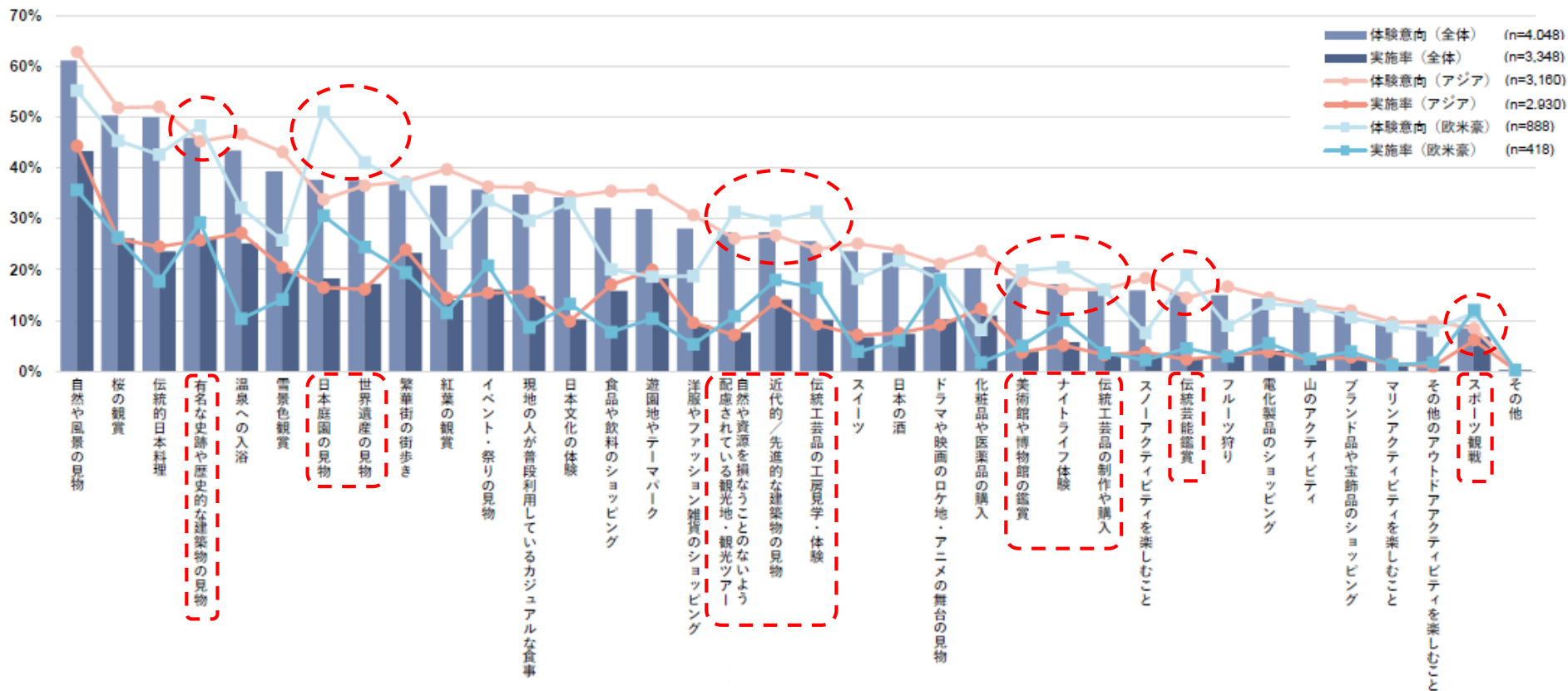


■ 訪日旅行で体験したいこと／体験したこと

訪日旅行希望者
訪日旅行経験者

訪日旅行で体験したいこと（回答はあてはまるもの全て）／訪日旅行で体験したこと（回答は5つまで）

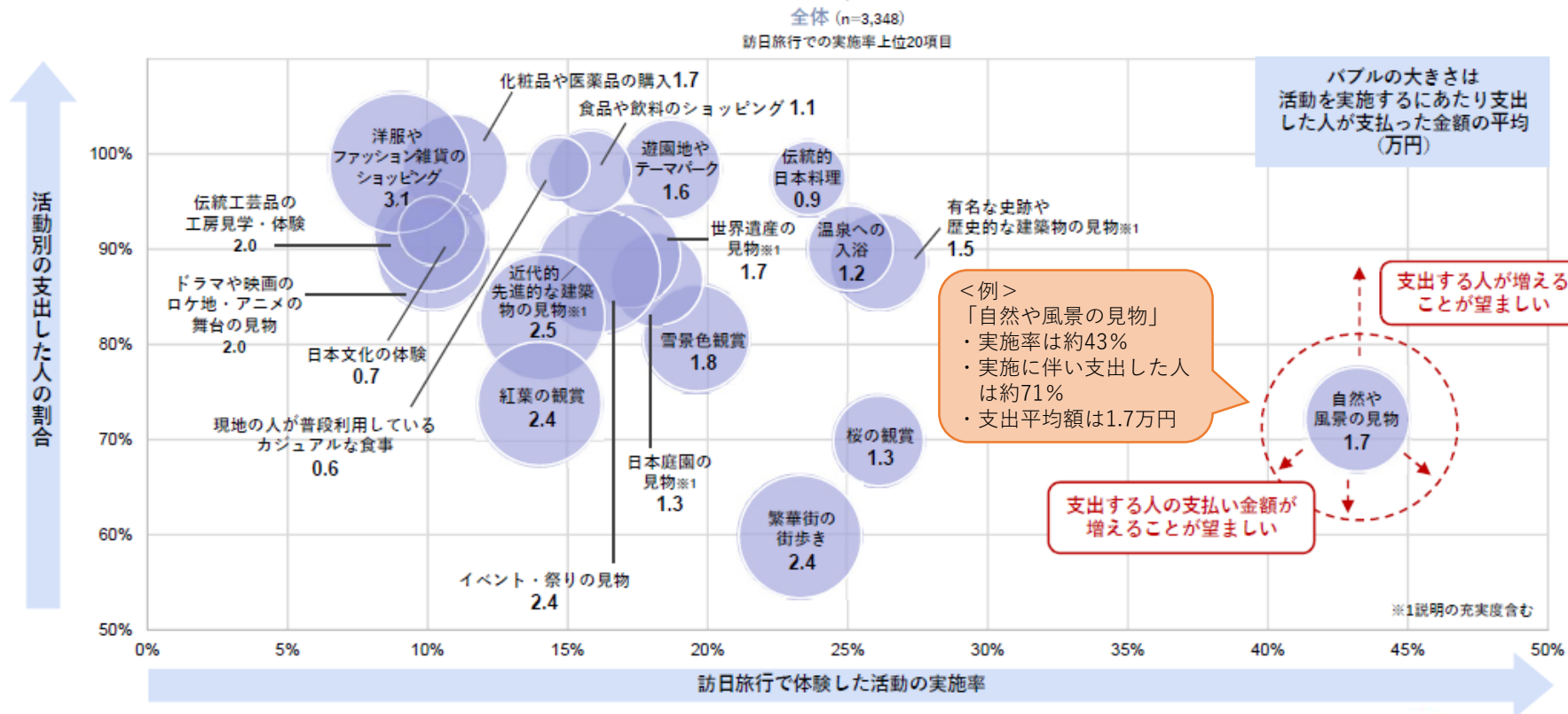
全体の「訪日旅行で体験したいこと」の割合で降順ソート



- 各折れ線グラフについて、オレンジがアジアの意向傾向、青が欧米豪の意向傾向。
- 赤点線で囲んだ項目は、アジアより欧米豪の方が体験意向が高い項目であり、欧米豪はその土地の歴史、文化、建築を味わう体験、日本の伝統文化を味わう体験について意向が高いことが伺える。また、スポーツ観戦については、（全体的な意向度自体は低いものの、）欧米豪の実施率が高い項目となっている。
- その他の項目はアジアの方が高く、特に「自然や風景の見物」「桜の鑑賞」「伝統的・日本の料理」「温泉への入浴」について意向度が高い。

■ 体験の実施率と、各活動の支出割合

訪日経験者 | 訪日旅行で体験した活動の実施率（上位20位） × 支出した人の割合（活動別） × 支出した人が支払った金額※2の平均（活動別）



- ・全体の傾向として、訪日旅行で体験した活動は、実施率が高いほど、支出した人も割合が低くなる。
- ・実施率が高い活動については、誘客促進コンテンツとして活用するとともに、来訪した人が支出したくなる仕組みづくりを行うことで、経済効果をもたらすコンテンツとなる可能性がある。
- ・一方、実施率が低い活動については、実施率を高めて幅広い層に訴求するコンテンツとなる可能性があるものもあれば、ニッチ層を中心にさらに単価向上を狙えるものもあるだろう。

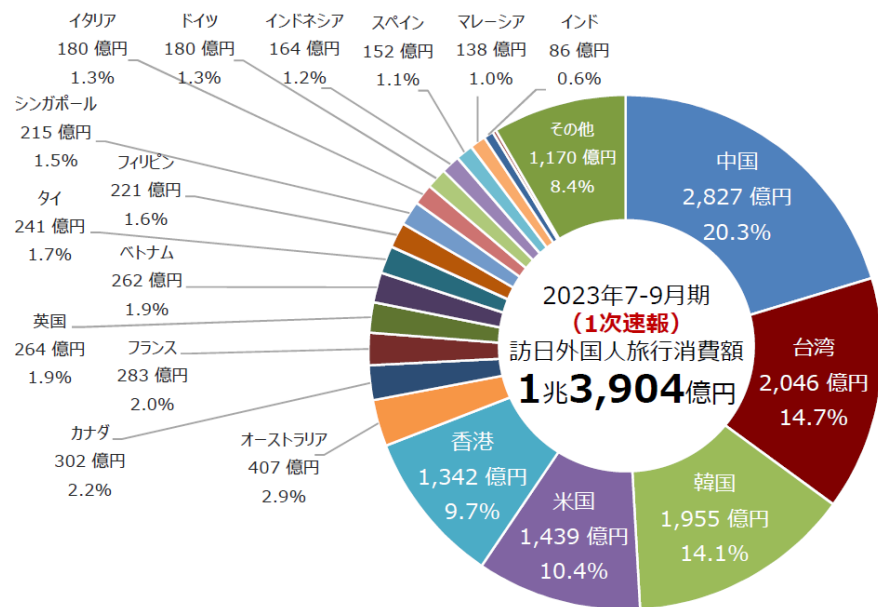
7～9月 訪日外国人消費動向調査（速報値）①

2023.7～9 訪日外国人消費動向調査（速報値）

・ 訪日外国人旅行消費額は、1兆3,904億円。

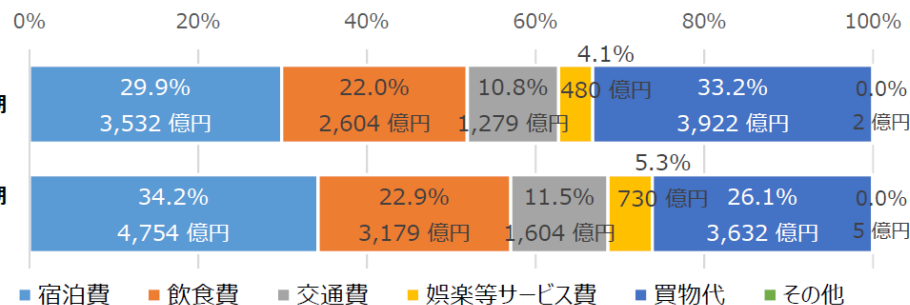
2019年（コロナ前）比**117.7%**と**コロナ前を超えた**。（2023年4～6月速報値：2019年同期比 95.1%）

【図表1】国籍・地域別にみる訪日外国人旅行消費額と構成比



順位	国籍	消費額 (億円)	構成比 (%)	4-6月順位
1位	中国	2,827	20.3%	(3位) ↑
2位	台湾	2,046	14.7%	(1位) ↓
3位	韓国	1,955	14.1%	(4位) ↑
4位	米国	1,439	10.4%	(2位) ↓

【図表2】訪日外国人旅行消費額の費目別構成比



詳しくは、観光庁ホームページをご確認ください。

[訪日外国人消費動向調査2023年7-9月期\(1次速報\)について | 2023年 | 報道発表 | 報道・会見 | 観光庁 \(mlit.go.jp\)](#)

出典：観光庁「【訪日外国人消費動向調査】2023年7-9月期の全国調査結果（1次速報）の概要」より

7～9月 訪日外国人消費動向調査（速報値）②

- ・ 1人あたり旅行支出は平均21万1千円。
- ・ **1位 フランス (35万8千円)**、2位 スペイン (35万円)、3位 イタリア (34万2千円)
- ・ 参考：観光立国推進計画 (2025.3決定) における、**2025目標値** 訪日外国人旅行消費額単価：**20万円/人**
- ・ **1人1泊あたりの支出が最も多いのは、香港 (30,775円)**

【図表5】国籍・地域別にみる一般客1人当たり費目別旅行支出（全目的）

2023年7-9月期		(1次速報)	訪日外国人1人当たり旅行支出							(円/人)	(泊)	1泊あたり
国籍・地域	総額	2019年比	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス費	買物代	その他	平均泊数 注			
全国籍・地域	210,810	+29.4%	72,272	48,248	24,345	11,090	54,773	81	11.2	18,822		
韓国	110,686	+27.2%	35,689	31,727	10,454	6,142	26,649	24	4.9	22,589		
台湾	177,823	+55.5%	53,079	38,354	20,040	10,980	55,370	0	7.5	23,710		
香港	233,887	+52.3%	74,325	53,715	21,023	10,249	74,147	428	7.6	30,775		
中国	284,934	+40.0%	85,322	56,648	26,999	18,584	97,173	207	14.6	19,516		
タイ	180,543	+20.5%	53,438	49,391	21,866	5,282	50,566	0	16.0	11,284		
シンガポール	256,496	+67.4%	92,686	57,742	31,520	9,682	64,866	0	11.9	21,554		
マレーシア	215,478	+62.0%	72,879	50,817	23,892	8,005	59,856	29	10.2	21,125		
インドネシア	201,116	+48.2%	66,646	45,099	28,407	10,071	50,893	0	18.5	10,871		
フィリピン	166,434	+73.7%	50,310	33,875	19,098	8,917	54,233	0	24.6	6,766		
ベトナム	188,835	+4.3%	52,260	44,601	24,425	8,028	59,522	0	30.4	6,212		
インド	215,085	+45.0%	85,347	48,297	30,693	11,383	39,365	0	22.7	9,475		
英国	328,422	+84.9%	153,423	65,614	49,159	9,848	50,378	0	17.7	18,555		
ドイツ	274,691	+44.7%	125,577	63,227	44,033	10,733	31,122	0	14.6	18,814		
フランス	357,775	+40.2%	154,806	70,863	54,138	10,156	67,813	0	20.4	17,538		
イタリア	341,870	+63.6%	156,451	88,325	53,488	11,261	32,135	211	11.8	28,972		
スペイン	349,718	+57.8%	141,938	85,180	62,437	15,253	44,803	106	16.2	21,588		
ロシア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
米国	291,537	+46.7%	123,531	64,265	40,664	14,702	48,328	47	12.8	22,776		
カナダ	261,416	+52.9%	110,486	60,697	34,598	13,531	42,104	0	13.2	19,804		
オーストラリア	320,286	+46.6%	126,841	69,426	48,540	19,396	56,083	0	13.4	23,902		
その他	314,812	+40.3%	119,835	76,085	43,730	13,117	62,045	0	23.3	13,511		
クルーズ客	44,253	+15.0%	24	6,548	2,650	961	34,026	44	2.1	21,073		

※「訪日外国人」には、観光・レジャー目的に加え、ビジネス目的や親族・知人訪問目的などで日本を訪れた外国人が含まれる。日本に居住している外国人は含まれない。

7～9月 訪日外国人消費動向調査（速報値）③

- ・「観光・レジャー目的のみ」の集計では、1人あたり平均19万8千円。（なお、4-6月期は1人あたり平均20万1千円）
- ・2025目標値 訪日外国人旅行消費額 単価：20万円/人」にあと少しで届かなかった。
- ・なお、観光・レジャー目的のみで、1人1泊あたりの支出が最も多いのは、中国（34,161円）

【図表6】国籍・地域別にみる一般客1人当たり費目別旅行支出（観光・レジャー目的のみ）

2023年7-9月期		(1次速報)		(円/人)					(泊)	
国籍・地域	総額	訪日外国人1人当たり旅行支出【観光・レジャー目的】							平均泊数 注	1泊あたり
		2019年比	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス費	買物代	その他		
全国籍・地域	198,263	+26.2%	68,338	45,222	23,636	8,510	52,459	97	7.2	27,537
韓国	106,363	+57.6%	34,404	29,076	10,110	6,126	26,633	14	4.0	26,591
台湾	169,822	+54.2%	51,162	37,333	19,448	7,233	54,646	0	6.3	26,956
香港	224,599	+48.1%	73,602	52,938	20,961	7,925	68,710	463	6.8	33,029
中国	256,207	+28.3%	79,760	51,082	26,459	10,283	88,326	296	7.5	34,161
タイ	182,555	+49.8%	54,605	44,612	23,452	6,045	53,841	0	6.2	29,444
シンガポール	257,694	+67.3%	85,219	55,895	33,292	11,473	71,815	0	8.1	31,814
マレーシア	220,586	+70.8%	73,805	51,928	24,924	7,832	62,051	47	6.7	32,923
インドネシア	205,293	+68.9%	68,818	45,097	33,274	9,063	49,040	0	8.5	24,152
フィリピン	208,846	+91.9%	59,467	40,871	21,578	13,304	73,625	0	7.2	29,006
ベトナム	189,885	+61.4%	56,933	39,052	27,848	5,711	60,340	0	7.0	27,126
インド	214,874	+40.3%	81,249	53,489	37,812	6,789	35,535	0	7.6	28,273
英国	335,937	+54.1%	153,161	69,659	51,101	13,654	48,361	0	13.2	25,450
ドイツ	304,642	+25.4%	133,367	74,085	51,316	8,666	37,207	0	15.0	20,309
フランス	358,224	+48.4%	149,357	72,336	56,263	10,816	69,453	0	18.5	19,363
イタリア	343,979	+51.9%	155,226	90,586	54,605	11,454	31,971	138	12.1	28,428
スペイン	353,465	+55.4%	143,302	89,353	64,286	9,580	46,819	125	15.3	23,102
ロシア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
米国	310,964	+62.2%	133,116	67,144	45,342	14,715	50,597	49	11.5	27,040
カナダ	286,877	+57.7%	122,963	67,853	37,191	12,058	46,811	0	12.2	23,515
オーストラリア	334,891	+42.5%	133,186	71,692	52,407	15,743	61,863	0	13.8	24,267
その他	308,487	+32.8%	120,031	70,693	47,808	10,609	59,345	0	13.8	22,354

※「訪日外国人」には、観光・レジャー目的に加え、ビジネス目的や親族・知人訪問目的などで日本を訪れた外国人が含まれる。日本に居住している外国人は含まれない。



昨年(2021年)の11月にエンゲージメントの高かった投稿を紹介。

観光スポット編

11月は紅葉スポット！

↑ いいね数 上位ランキング

BEST 1

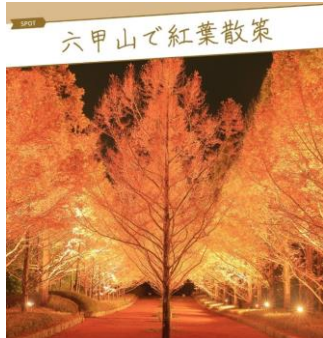
BEST 2

BEST 3

BEST 4

BEST 5

2022年11月



2022/11/2



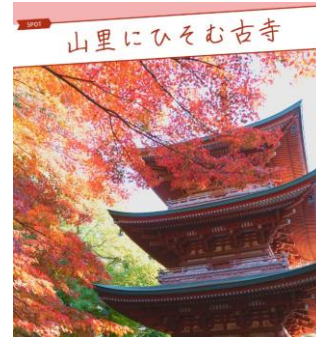
2022/11/22



2022/11/8



2022/11/9



2022/11/25

昨年11月は「六甲山で紅葉散策」が**1位**に。市街地から車で約25分、「神戸市立森林植物園」には市街地よりも一足早く紅葉の見ごろが訪れる。
2位⇒「須磨のお大師さん」。歴史的、文化的にも価値のある、パワースポット「須磨寺」でこの時期ならではの秋の景色を楽しむ。
3位⇒「神戸で感じる実りの秋」。豊かな自然に恵まれた「神戸ワイナリー」はまるでフランスのワイナリーのような雰囲気が味わえる。
4位⇒「秋の有馬をぶらり旅」。市街地とは違った趣の「有馬温泉の秋」、入浴や有馬のグルメに癒されるぶらり旅。
5位⇒「山里にひそむ古寺」。北区にある石峯寺(しゃくぶじ)には情緒あふれる秋景色が広がっていて、国の重要文化財である三重塔と紅葉のコンビネーションは見ごたえ抜群。



2022/11/18



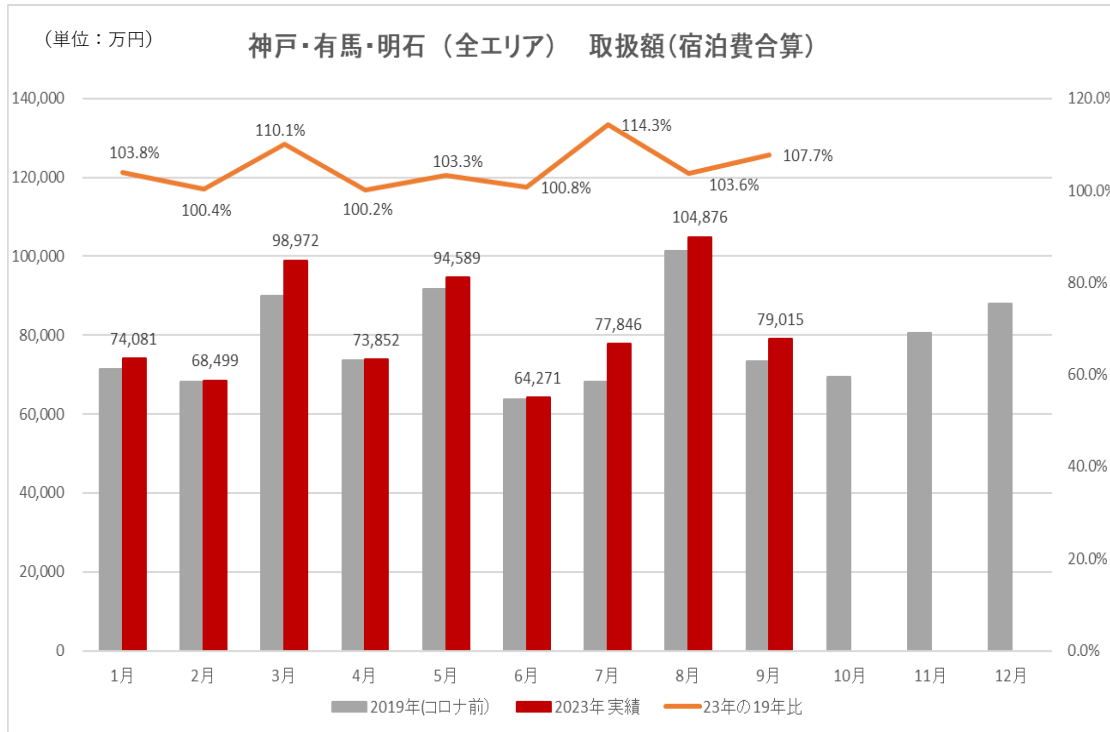
紅葉スポット以外の記事では、「神戸でおいしさ続く老舗ベーカリー3選」の記事が高いエンゲージメントを獲得。

今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング

■ 直近のOTA予約状況について

- 9月 全市（明石含む）の取扱額：2019年同月比：107.7%、人泊数：99.5%、単価：108.3%。
- コロナ前に届かない月も多かった人泊数については、9月は99.5%とほぼコロナ前と同人数まで回復してきた。
- 有馬にあっては、酷暑により温泉が時期的に選ばれにくくなっていること、単価の上昇から国内旅行者よりもインバウンドに選ばれやすくなってきている傾向がみられる。
- 市街地にあっては、人手不足により販売部屋数を抑えつつ、単価を上げることで売上を維持しているホテルが増加傾向。（ただし、人泊数はコロナ前と同等まで回復している。）

【実績】



2019年度比

	7月	8月	9月
全市			
取扱額	114.3% (98.9%)	103.6% (88.3%)	107.7% (92.8%)
人泊数	102.0% (96.8%)	96.4% (87.6%)	99.5% (90.1%)
市街地			
取扱額	115.2% (98.1%)	106.7% (88.8%)	110.1% (92.3%)
人泊数	105.6% (99.2%)	99.7% (91.5%)	99.7% (90.6%)
有馬			
取扱額	107.5% (98.3%)	92.5% (88.3%)	91.7% (88.4%)
人泊数	88.9% (88.8%)	81.8% (80.7%)	81.0% (80.2%)

黒太字は
2023年-2019年比（ ）内は同時点の2022年-2019年比

【このデータの特徴】

現在の国内観光における予約手段として、急速にその影響力が高まったのが、「OTA = Online Travel Agent」。代表的なOTAとして、じゃらんnet、楽天トラベル、一休、Booking.com、JTBるるぶトラベルが上位を形成している。サービスが登場してから個人旅行やビジネス出張などの手配手段として継続的に発展しており、最近ではパソコンではなくスマホからの利用（予約）が主となってきている。2022年のコロナ影響下の中でも、利用者数は増加傾向にあり、トップシェアのOTAの利用者数は1368万人（対前年比177%）と成長している。最近では観光庁のGOTOキャンペーンや、全国旅行支援などで利用を開始する人も増えたと推察される。

一方で、大型宿泊施設や各種ホテルグループでは、OTAや旅行代理店（リアルエージェント）からの予約ルートに加えて、エージェントを介さない自社HPからの「直予約」の強化を図っている。

上記で掲載しているデータは、全ての販路を集計しているわけではないが、特に個人旅行の傾向を分析するには有効なものと考えている。

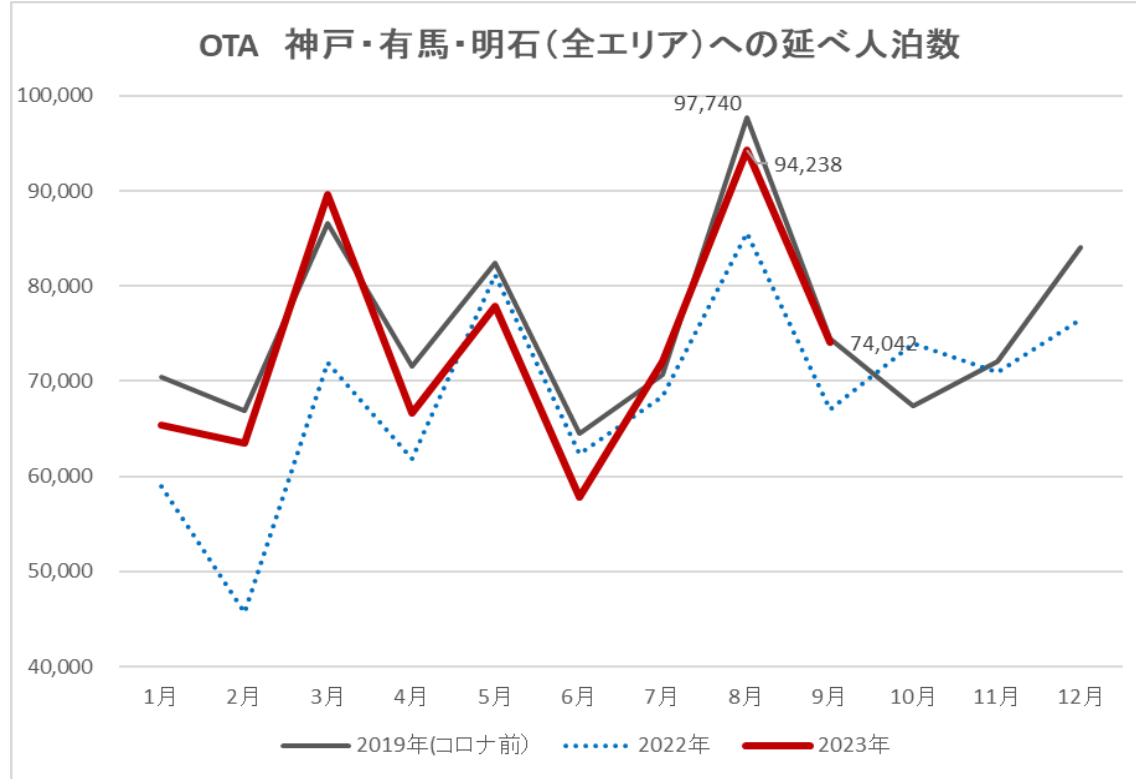
今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング

【DATAに関する基本情報】

- ・ 某大手OTA（Online Travel Agent）経由での延べ宿泊者数実績
- ・ 神戸市内の宿泊施設 145施設への月別の延べ人泊数（チェックアウトベース）

【グラフA】

（単位：人泊）



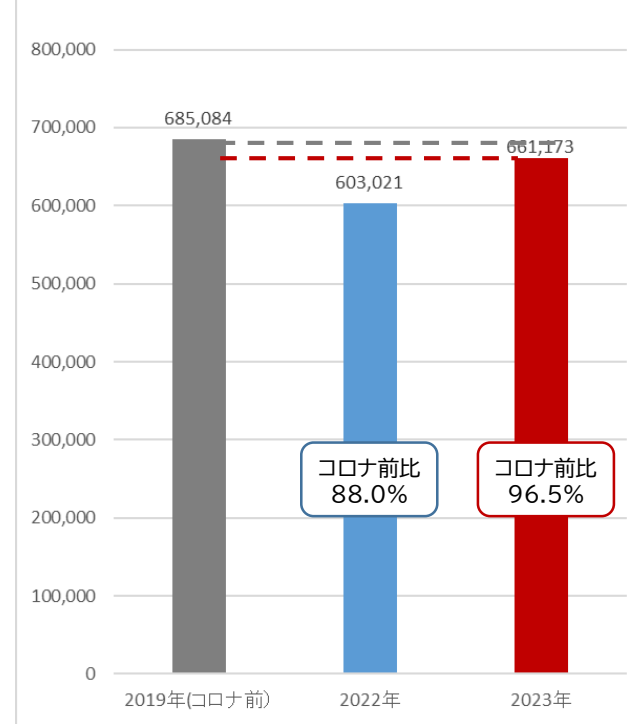
【グラフB】

OTA

（単位：人泊）

神戸・有馬・明石（全エリア）

1～9月までの延べ人泊数累計比較



【考察① グラフ〔A〕 2023年度の出だし好調】

- ・ 2023年 1-9月までは、2019年度の季節変動値に近い数値の推移。3月以外は2019年比▲1%～▲10%で推移。
- ・ インバウンドが回復傾向のため、人手不足により販売の部屋数を抑えている宿もあり人泊数は2019年水準に届いていない月もあった。
- ・ 8月は台風の影響により人泊数は惜しくもコロナ前に届かなかったが、9月は2019年度とほぼ同水準に回復。2019年9月（7万4433人泊）の99.5%にあたる7万4042人泊となった。

【考察② グラフ〔B〕 2023-2019 1～9月延べ人泊数累計の比較】

- ・ 2023年9月までは、66万1173人泊で、2019年（コロナ前・68万5084人泊）の96.5%まで回復
- ・ 2022年の9月までの累計（2022年・60万3021人泊）と比較すると、前年比109.6%。
- ・ コロナ禍が明けてきたこともあり、2022年と比較すると順調に回復してきている。

今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング



【予約】

黒太字は
2023-2019年比（ ）内は同時点の2023-2022年比

【神戸市】

2019年比
〔取扱額〕

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全市						
10.22時点	126.3% (99.1%)	139.7% (107.5%)	129.0% (93.4%)	138.7% (124.4%)	165.9% (218.7%)	173.7% (187.3%)
9.18時点	130.6% (127.7%)	133.5% (197.8%)	125.4% (157.5%)	148.8% (147.3%)	160.6% (227.1%)	—
市街地						
10.22時点	134.7% (99.3%)	133.9% (108.1%)	117.5% (98.3%)	150.1% (150.2%)	137.8% (195.9%)	175.1% (220.6%)
9.18時点	132.1% (125.5%)	122.3% (198.0%)	116.8% (162.3%)	152.7% (192.8%)	134.4% (214.5%)	—
有馬						
10.22時点	107.4% (102.6%)	131.0% (99.8%)	129.2% (88.8%)	124.0% (106.1%)	217.7% (302.5%)	162.1% (194.5%)
9.18時点	120.1% (126.4%)	131.0% (170.0%)	141.8% (158.8%)	149.9% (119.1%)	353.9% (311.1%)	—

【他エリア比較】

2019年比
〔取扱額〕

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
淡路島						
10.22時点	157.3% (116.3%)	158.7% (92.5%)	170.1% (76.2%)	165.7% (94.6%)	322.7% (128.5%)	356.2% (106.0%)
9.18時点	180.8% (121.0%)	201.4% (153.8%)	186.6% (113.1%)	185.3% (99.9%)	314.6% (134.9%)	—
城崎						
10.22時点	119.2% (118.0%)	135.1% (100.9%)	125.0% (86.6%)	136.2% (105.2%)	184.3% (161.6%)	222.8% (154.4%)
9.18時点	142.8% (129.5%)	159.7% (153.3%)	148.2% (160.4%)	128.9% (139.7%)	220.1% (200.1%)	—
大阪市エリア						
10.22時点	166.7% (128.6%)	182.9% (133.3%)	173.7% (122.2%)	145.5% (168.2%)	165.3% (271.1%)	186.8% (270.2%)
9.18時点	178.8% (175.4%)	177.6% (234.8%)	152.0% (226.2%)	121.6% (231.0%)	164.2% (310.0%)	—
京都市エリア						
10.22時点	139.6% (113.8%)	141.0% (115.8%)	153.8% (125.8%)	138.7% (139.4%)	164.7% (220.8%)	178.1% (262.3%)
9.18時点	137.4% (170.4%)	148.2% (196.3%)	148.8% (213.3%)	128.4% (168.8%)	146.7% (262.7%)	—
東京23区エリア						
10.22時点	141.9% (136.9%)	154.9% (133.0%)	168.3% (140.3%)	170.8% (200.3%)	189.8% (266.3%)	172.6% (255.3%)
9.18時点	162.4% (239.4%)	167.0% (275.4%)	161.4% (277.3%)	165.7% (303.1%)	186.4% (305.0%)	—

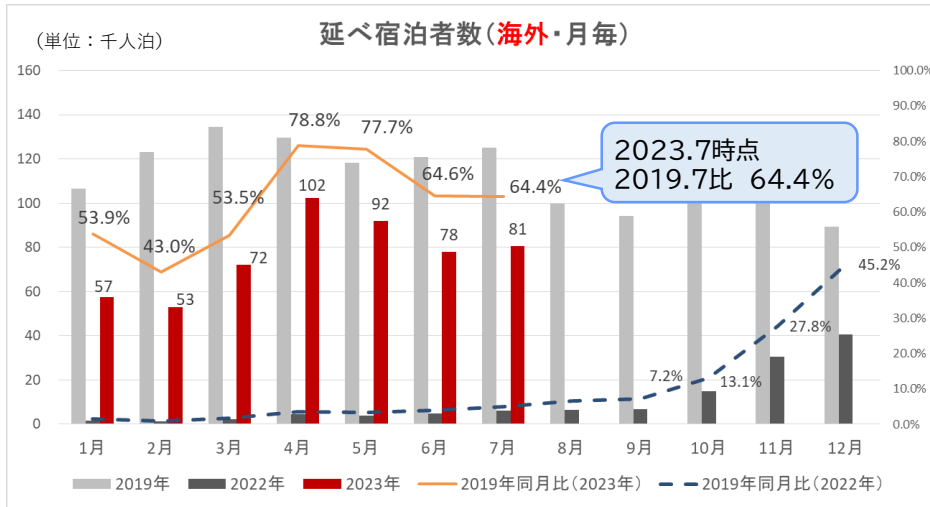
- 基本的に先6月に渡って、コロナ前と同等あるいは超えるスピード感で予約が入っている状況。基本的に単価増が好調な伸びを支えている。
- 夏休みも明け、年明けの予約が動き出している。リードタイムの長いインバウンドの予約が動き出していることから、国内旅行者も部屋を取り損ねないように早めに予約する傾向が出つつある。加えて、国内旅行者については、祖父母世代を含めた3世代ファミリー旅行の日程を早めにおさえたりするような動きが出てきていることから、**コロナ禍と比較してリードタイムが長くなりつつある傾向。**
- 神戸以外のエリアも含め、引き続き10月以降も好調に推移しているが、要因としては客単価の伸びが全エリアで生じている。（単価増の影響としては、①高単価な新規ホテルの増加、②ビジネスなども含めた需要回復によるホテルの稼働率増、③人件費・食材費・委託費等原価の上昇）
- 特に2月・3月が好調な淡路島・城崎では、コロナ前よりも宿泊施設がリードタイムを伸ばすような取り組み（ゴールド会員限定のプラン販売、〇〇日前までの予約でお得など）が増えていることも相まって伸びが顕著になっている。

定点観測

(延べ宿泊者数／市内ホテル平均稼働率)

延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【インバウンド比較】 ※R5.7まで

【兵庫県】



※神戸市の延べ宿泊者数については、取得元(観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」)の数値が安定していないため、掲載保留中

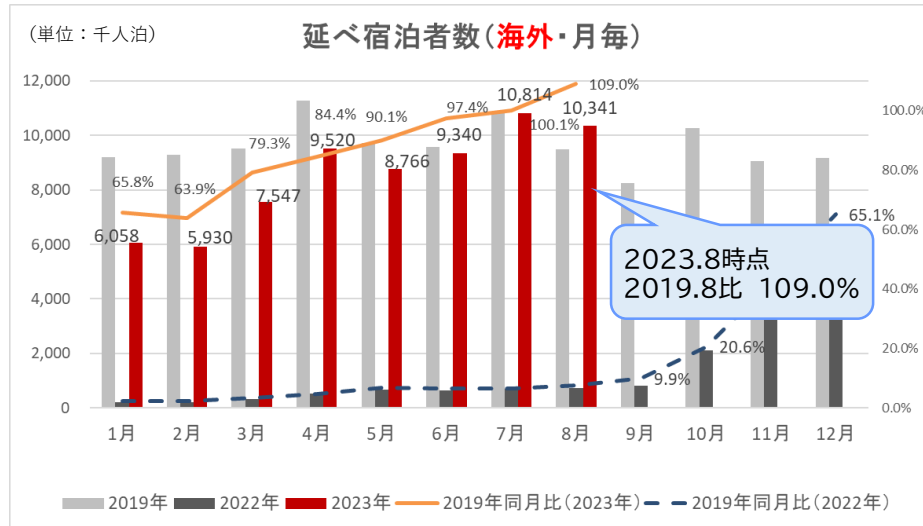
傾向

兵庫県	コロナ前比 約6割(7月) 全国の回復状況と比較すると、回復鈍化
全国	コロナ前比 約10割超(7月~) 全国的にはコロナ前を超えて回復

※コロナ前比較:2019.1~2019.12をベースに同月比較

【全国】

※R5.8推計値まで



【分析コメント】

- 全国の外国人延べ宿泊者数がコロナ前を超える勢いを見せ始めた。国籍別内訳では、中国が1位であり、先月から150%UP。その他、台湾・韓国も先月から約112~115%UPとなっており、東アジアが着実に伸び出したことが分かる。
- 都道府県別では、トップ3は、依然、**東京、大阪、京都**。これらトップ3はコロナ前を超えて回復。東京はコロナ前の1.5倍。
- 兵庫県は全国15位。2019年7月比では6割程度の回復率。
- 依然、地域・都道府県によって回復率にかなりのばらつきが生じている。

👉 **【全国】外国人延べ宿泊者数**
[国籍別は37ページ](#)、[都道府県別は38ページ](#)へ

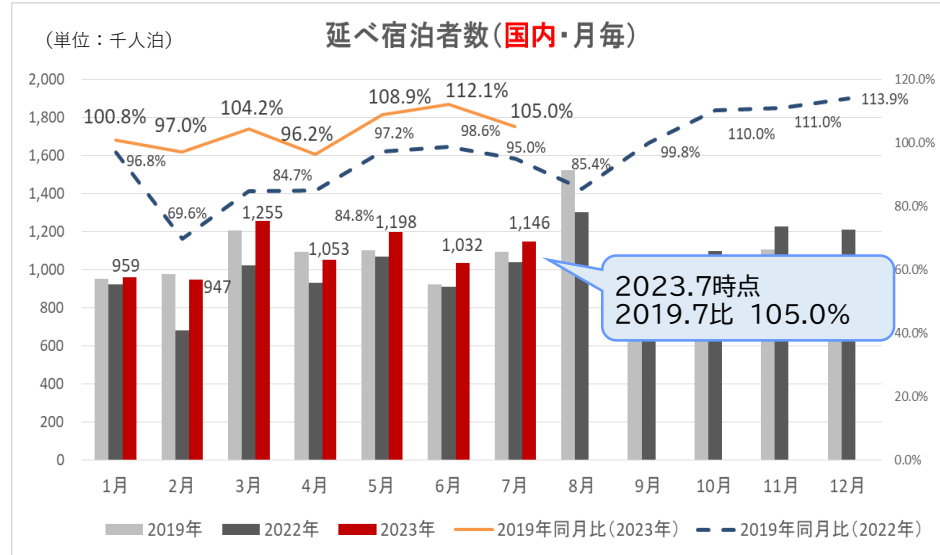
出典: 【全国・兵庫県】観光庁「宿泊旅行統計調査」

・令和5年7月 第2次速報値

・令和5年8月 第1次速報値

延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【国内比較】 ※R5.7まで

【兵庫県】



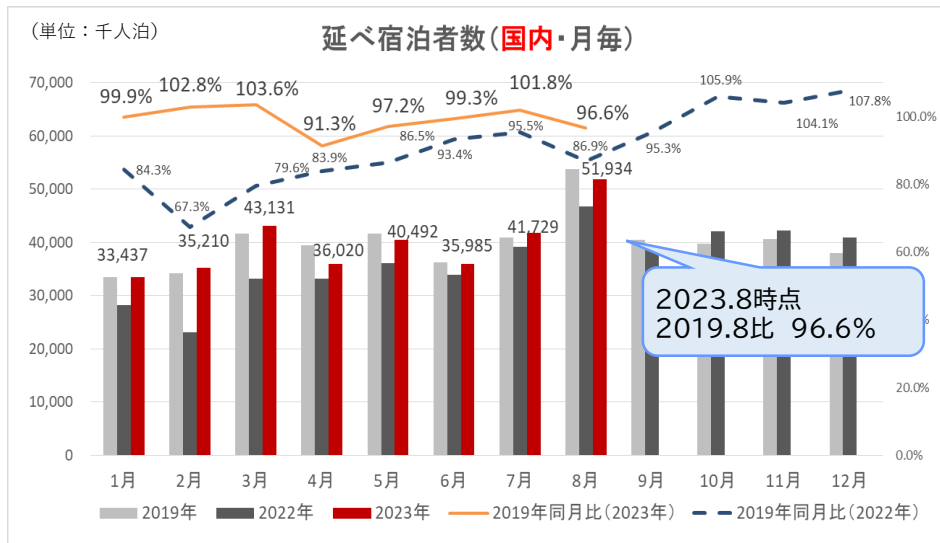
※神戸市の延べ宿泊者数については、取得元（観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」）の数値が安定していないため、掲載保留中

傾向

兵庫県・全国

コロナ前比と同水準に回復

【全国】 ※R5.8推計値まで

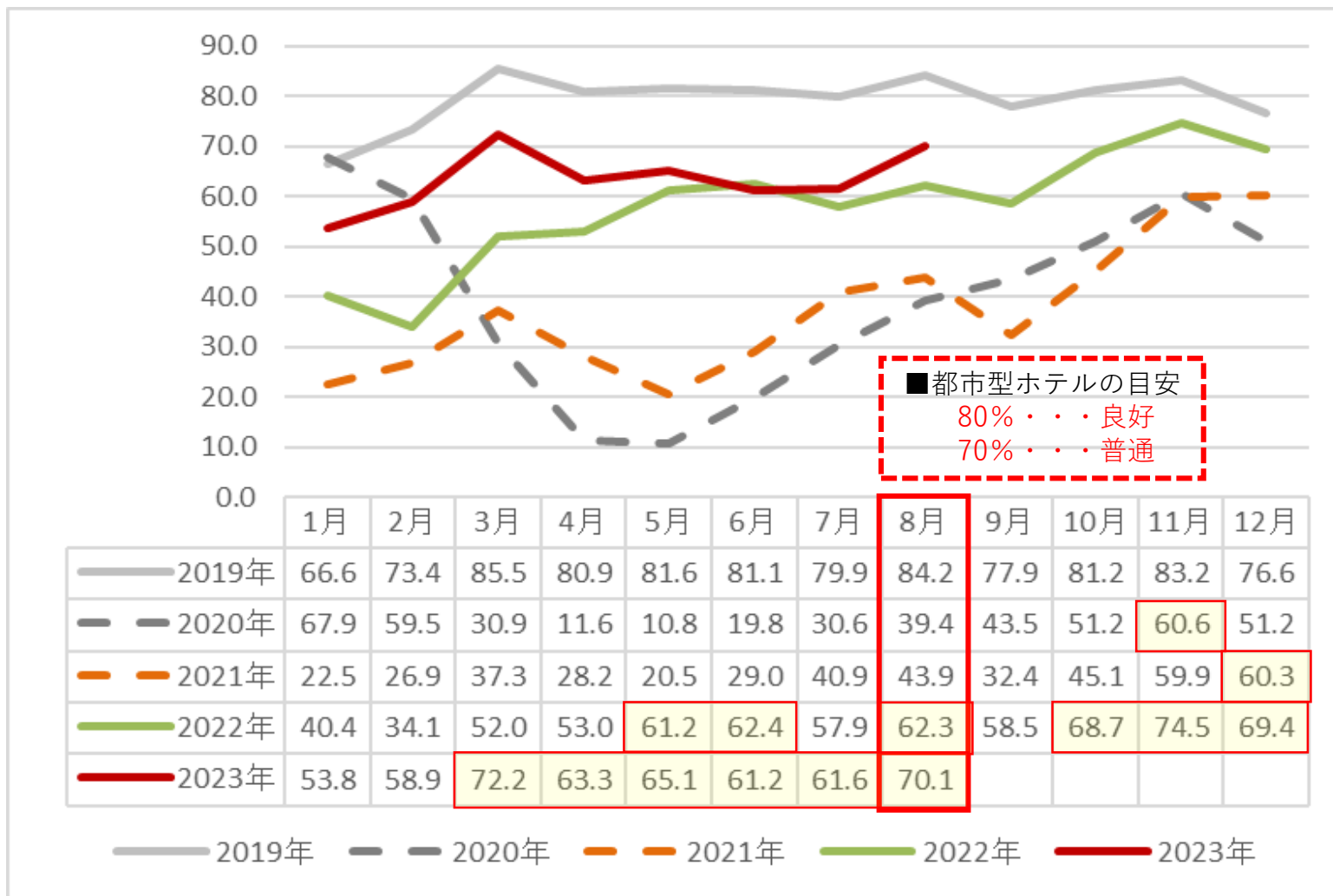


※コロナ前比較:2019.1~2019.12をベースに同月比較

出典：【全国・兵庫県】観光庁「宿泊旅行統計調査」
 ・令和5年7月 第2次速報値
 ・令和5年8月 第1次速報値



市内ホテル平均稼働率



※10社ベース

【参考】英調査会社STR発表
8月 国内ホテル稼働率
全国：75.7%
(前月比 2.3pt)

8月の全国のホテル平均稼働率は、前月比2.3ポイント高い75.7%となった。夏の繁忙期などで押し上げられたとみられる。日次最高稼働率はお盆直前の12日の87.2%だった。客室平均単価は1万9438円となった。新型コロナウイルス禍前の2019年同年比で20.3%高い。国内外のリベンジ需要で高まったとみられる。

インバウンド情報

(訪日外客数／ターゲット国の傾向分析)

2023年月別訪日外客数(対2019年比)

訪日外客数(全国)			
	2019	2023	2019比
7月	2,991,189名	2,320,694名	▲22.4%
8月	2,520,134名	2,156,900名	▲14.4%
9月	2,272,883名	2,184,300名	▲3.9%

- ・ 訪日外客数は6月以降、1月200万人を超える勢いで推移。9月も引き続き210万人を超え、回復率は前月を大きく上回り、**新型コロナウイルス拡大前に迫る勢いとなった。(コロナ前比96.1%)**
- ・ なお、2023年の累計(1~9月)はで1700万人を突破。
- ・ **韓国がコロナ前と比較して3倍近くの伸び**を見せるなど、外客数を牽引。その他、**東南アジアや北米豪など15市場において、9月として過去最高値を記録。**
- ・ 一方で観光現場では、急速過ぎる来訪者の回復と人員不足とで、受入体制が追い付かない事態もあり、来訪者のマネジメントが今後の課題になることが予見される。

2022.6.10~ 添乗員付きパッケージ

ツアーに限定した訪日観光が再開。

9/7~ ワクチン3回接種を条件に入国時陰性証明不要、添乗員無しパッケージツアーの容認、1日当たり入国上限を5万人に。

10/11~ 1日当たりの入国者数の上限撤廃、短期ビザ免除、個人旅行解禁。入国時検査や待機もワクチン3回接種証明か陰性証明で原則撤廃。

2023.4.29~ 新型コロナウイルス5類化に伴い、日本の出入国者に求めているワクチン3回接種証明や陰性証明の提出が不要に。

○水際対策(厚労省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html

訪日外客数 Visitor Arrivals			
	2019	2023	伸率 Change %
1	2,689,339	1,497,472	-44.3
Jan.	(2,345,029)	(1,308,606)	(-44.2)
2	2,604,322	1,475,455	-43.3
Feb.	(2,341,479)	(1,297,458)	(-44.6)
3	2,760,136	1,817,616	-34.1
Mar.	(2,411,650)	(1,582,518)	(-34.4)
4	2,926,685	1,949,236	-33.4
Apr.	(2,640,569)	(1,738,172)	(-34.2)
5	2,773,091	1,899,176	-31.5
May	(2,455,865)	(1,656,118)	(-32.6)
6	2,880,041	2,073,441	-28.0
Jun.	(2,614,533)	(1,882,296)	(-28.0)
7	2,991,189	2,320,694	-22.4
Jul.	(2,713,329)	(2,108,438)	(-22.3)
8	2,520,134	*2,156,900	*-14.4
Aug.	(2,206,746)		
9	2,272,883	*2,184,300	*-3.9
Sep.	(1,913,105)		
10	2,496,568		
Oct.	(2,177,382)		
11	2,441,274		
Nov.	(2,145,425)		
12	2,526,387		
Dec.	(2,292,029)		
1~9	24,417,820	*17,374,300	*-28.8
Jan.-Sep.	(21,642,305)		
1~12	31,882,049		
Jan.-Dec.	(28,257,141)		

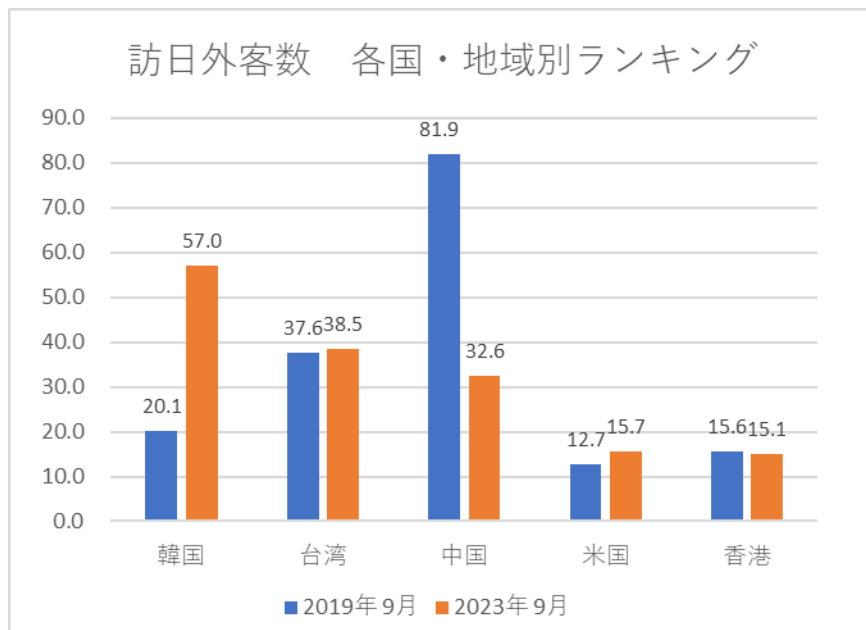
訪日外客数のうち、*印の値は暫定値、その他の値は確定値。

2023年9月訪日外客数の各国・地域別ランキング(対2019年比)

国・地域	総数				2023 総数			
	2019年 9月	2023年 9月	(順位)	伸率 (%)	2019年 1月～9月	2023年 1月～9月	(順位)	伸率 (%)
韓国	201,252人	570,400人	(1位)	183.4	4,934,315人	4,894,800人	(1位)	▲ 0.8
台湾	376,186人	385,300人	(2位)	2.4	3,736,530人	2,974,600人	(2位)	▲ 20.4
中国	819,054人	325,600人	(3位)	▲ 60.2	7,402,578人	1,597,800人	(3位)	▲ 78.4
米国	127,190人	156,600人	(4位)	23.1	1,277,007人	1,466,100人	(5位)	14.8
香港	155,927人	151,100人	(5位)	▲ 3.1	1,660,886人	1,483,600人	(4位)	▲ 10.7



韓国がコロナ前と比較して+184%となっており、伸びが顕著。



9月動向

- 9月の訪日外客数は、2019年同月比96.1%の2,184,300人となった。回復率では前月を大幅に上回り、新型コロナウイルス拡大前の実績に迫る勢いを見せた。
- シンガポールをはじめとした東南アジア、また米国やカナダなどを含む米州等において訪日外客数が増加したことが今月の回復率の押し上げ要因となった。なお、国際線定期便に関しては、2023年夏ダイヤ時点でコロナ禍前の約6割まで運航便数が回復し、その後も東アジアを中心に増便・復便が続いている。
- 23市場のうち15市場（韓国、台湾、シンガポール、インドネシア、フィリピン、ベトナム、豪州、米国、カナダ、メキシコ、ドイツ、イタリア、スペイン、北欧地域、中東地域）において9月として過去最高を記録したほか、メキシコにおいては単月過去最高を更新した。
- 個人観光再開から1年が経過し、訪日外客数は堅調に回復をしているところ、今後も、「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客」の実現に向け、市場動向を綿密に分析しながら、訪日旅行プロモーションに取り組んでいく。

主要ターゲット国の旅行行動傾向分析 ～インドネシア～



by KTBインバウンドTM



- ・人口・・・2億7,500万人(2020年12月)
- ・GDP(1人当たり)・・・2019：4,196米ドル → 2021：4,357米ドル
(cf. 日本 2019：4万1千米ドル → 2021：3万9千米ドル)
- ★国際旅行支出・・・2017：83億米ドル → 2018：103億米ドル → 2019：113億米ドル
- ★訪日旅行者数・・・2017：35万人 → 2018：39万人 → 2019：41万人



- ・訪日旅行者の性・年代・・・2019 男性：女性 = 51:49 / 男女ともに約半数が20代
2021 男性：女性 = 50:50 / 男女ともに約6割が20代
- ・情報収集媒体・・・① YouTube(66.8%) ② Facebook(65.7%) ③ VN Express(31.0%) *ベトナム初の大手ウェブメディア



<インドネシアの効果的なWebプロモーション>

インドネシアではSNSの活用が重要になっています。旅行含めあらゆる領域において、InstagramやTiktok経由で情報に触れる人が増えています。ただ、InstagramやTiktokでの情報量は限られるため、補完的な位置づけとしてYoutubeやWebページ（もしくはオンラインメディアの記事など）を用意しておくことも必要です。

インドネシアの最新情報ひとことメモ

- ・インドネシア人の最新旅行トレンド(訪日以外のトレンドも含む)
旅行代理店からの情報によれば、2023年はいつになく海外旅行に訪れる人が増加傾向とのこと。訪日旅行に関しては、未曾有の円安を背景に「初訪日」の方はもちろん、「リピーター」も増加中。リピーターは、「体験型のコンテンツ」を求める傾向にあり、「その土地、その時期、そのお店、その場所でしかできない体験」を求める人は今後も増えていくと考えられおり、特に、直行便のない神戸では、そのような価値を提供することが求められる。
- ・神戸観光局の動き
2023年度よりインドネシアに海外拠点の新設し、最新の情報収集を行い、よりニーズに合った情報発信や旅行会社・メディアとのコネクションづくりに力を入れる。
大手メディアCNNインドネシアを招請した情報発信を実施。
(参考：<https://www.youtube.com/watch?v=jgAWRsWyv04&t=2s> https://www.youtube.com/watch?v=70_cIM05vTc&t=109s)

インドネシア最大級の訪日旅行博「Japan Travel Fair」(8月)に出展し、一般観光や「食」および「ムスリムフレンドリータウン・神戸」のPRを実施するとともに、団体旅行シリーズ造成に向けた旅行会社セールスを実施。

交通機関に関する情報
(航空業界の状況／クルーズ船寄港状況)

関西国際	2023年 6月	7月	8月
総旅客数(人)	1,892,675	2,123,912	2,265,940
2019年比	▲30%	▲24%	▲29%
国際線 発着数(回)	8,786	9,663	9,903
2019年比	▲34%	▲30%	▲28%
国際線 旅客数(人)	1,353,256	1,525,938	1,646,852
2019年比	▲37%	▲30%	▲26%
うち外国人 旅客数(人)	1,095,837	1,202,909	1,211,871
2019年比	▲28%	▲22%	▲12%
国内線 旅客数(人)	539,419	597,974	619,088
2019年比	▲2%	▲2%	▲6%

神戸	2023年 6月	7月	8月
国内線 発着数(回)	2,744	3,059	2,919
2019年比	+14%	+19%	+7%
国内線 旅客数(人)	275,898	290,661	313,651
2019年比	+5%	+3%	▲5%

< 関西国際空港・神戸空港の状況 >

- ・8月の関西国際空港における航空旅客数は、前月比106.6%。コロナ禍前(2019年比)71%となっている。
- ・外国人旅客数の8月は前月比横ばいで推移。(100.7%)国内の夏休み期間のためか、外国人旅行者数は低調な傾向。
- ・神戸空港発着回数は、2019年比107%、前月比108%。旅客数は2019年比95%となり、若干の減少。前年比120%以上の増便は、松本、高知、茨城。

直近1年間の関西国際空港・神戸空港の利用状況は[41ページ](#)、
2023年8月までの神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率は[42ページ](#)へ

出典: 関西エアポートニュースリリースより作成

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。



関空国際線就航状況・入国状況 ～KTBターゲット12か国～ 10月23日時点

国際線就航状況 (便数)	2020年1月	2023年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
英国	3	0	0	0	0	0	0	0
フランス	6	5	5	5	4	4	4	3
豪州	12	5	5	5	5	7	7	7
米国	78	11	11	11	11	11	14	14
中国	630	98	125	161	157	197	213	227
台湾	169	101	101	101	94	112	119	112
香港・マカオ	117	69	118	82	96	94	96	134
韓国	244	265	282	246	296	263	310	325
タイ	47	31	36	36	42	42	43	47
マレーシア	14	15	15	18	18	18	21	21
インドネシア	9	0	0	0	0	0	0	0
シンガポール	116	14	14	21	21	21	21	21

※1週間に就航している便数

ターゲット12か国合計、前月比107%

香港・マカオ前月比140%
2020年比でも114.5%の増加。

出典：関西エアポート発表情報より作成

入国状況 (人数)	2020年1月	2023年4月	5月	6月	7月
英国	3,526	3,811	3,316	2,671	3,618
フランス	2,271	5,769	5,441	3,374	4,556
豪州	11,956	8,226	6,090	5,653	4,118
米国	12,756	20,690	23,048	29,567	20,859
中国	328,191	35,857	58,039	92,662	124,678
台湾	102,205	73,493	79,576	101,540	99,848
香港	51,421	44,399	46,007	51,857	61,447
韓国	85,174	158,791	172,775	173,348	190,709
タイ	22,458	29,837	23,342	14,466	14,669
マレーシア	11,684	11,866	10,642	7,220	5,167
インドネシア	8,866	11,275	6,611	8,762	6,226
シンガポール	6,237	9,698	14,145	15,370	6,290

ターゲット12か国合計、前月比107%

中国は12万人を超え、韓国に迫る勢い。
台湾は10万人を若干下回り、1位韓国（19万人）2位中国（12.4万人）3位台湾（9.9万人）と、順位が入れ替わる。

英国・フランスが前月比135%の増加。
シンガポールは前月比41%と大幅な減少。

9月は前月とほぼ同数

※2023.9月速報値
関空入国者数：591,610人（8月：591,846人 7月：601,246人）

出典：総務省「出入国管理統計」より抜粋

【クルーズ船寄港状況】 ポートターミナル・中突堤

		9月分					累計				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比	R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
総合計	隻数	9	7	8	129%	113%	70	119	150	59%	47%
	船客数	4,494	384	4,695	1170%	96%	56,745	26,683	180,727	213%	31%
ポートターミナル		9月分					累計				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比	R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
合計	隻数	7	6	5	117%	140%	49	111	94	44%	52%
	船客数	3,710	268	1,884	1384%	197%	45,354	22,875	142,298	198%	32%
日中国際フェリー (新鑑真・蘇州號)	隻数	4	4	2	100%	200%	26	52	28	50%	93%
	船客数	0	0	294	-	0%	0	0	2,526	-	0%
日本船 (内航)	隻数	0	2	0	0%	-	3	53	11	6%	27%
	船客数	0	268	0	0%	-	2,698	18,387	7,385	15%	37%
日本船 (外航)	隻数	0	0	1	-	0%	0	2	3	0%	0%
	船客数	0	0	359	-	0%	0	20	1,262	0%	0%
外国籍船	隻数	3	0	2	-	150%	20	4	52	500%	38%
	船客数	3,710	0	1,231	-	301%	42,656	4,468	131,125	955%	33%
中突堤ターミナル		9月分					累計				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比	R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
合計	隻数	2	1	3	200%	67%	21	8	56	263%	38%
	船客数	784	116	2,811	676%	28%	11,391	3,808	38,429	299%	30%
日本船 (内航)	隻数	1	1	3	100%	33%	11	3	42	367%	26%
	船客数	673	116	2,811	580%	24%	6,348	773	29,813	821%	21%
日本船 (外航)	隻数	0	0	0	-	-	1	0	5	-	20%
	船客数	0	0	0	-	-	640	0	2,286	-	28%
外国籍船	隻数	1	0	0	-	-	9	5	9	180%	100%
	船客数	111	0	0	-	-	4,403	3,035	6,330	145%	70%

■全体

9月はR4年度比で隻数+2、船客は+4,110。R1年度比で隻数+1、客数は▲201。

神戸寄港最大級の「MSC BELLISSIMA」(171,598総トン)や神戸初入港の「CORAL ADVENTURER」(5,516総トン)や「ZHAO SHANG YI DUN」(47,842総トン)など大小さまざまなクルーズ客船が寄港した。

■ポートターミナル

9月の入港実績は7。内訳は定期船の日中国際フェリーが4、外国客船の「MSC BELLISSIMA」が1、「NATIONAL GEOGRAPHIC RESOLUTION」が1、「ZHAO SHANG YI DUN」が1。

■中突堤

9月の入港実績は2。内訳は「飛鳥II」が1、「CORAL ADVENTURER」が1。

【クルーズ船】11月の入港予定情報

11月は延べ8隻が入港予定！

・神戸寄港最大級の「MSCベリッシマ」が11/14に寄港！（神戸寄港は3回目）

客船名	寄港日時	総トン数	乗客定員 ※クルーは含めず	主な乗客 ※予測	ランク	入港場所
スター・ブリーズ	11/1(水)7:00～11/2(木)4:00	12,969トン	212名	欧米系	ラグジュアリー	ポートターミナル
セブンシーズ・エクスプローラー	11/2(木)12:00～11/3(金)18:30	55,254トン	732名	欧米系	ラグジュアリー	ポートターミナル
セブンシーズ・エクスプローラー	11/13(月)9:00～20:00	55,254トン	732名	欧米系	ラグジュアリー	ポートターミナル
MSCベリッシマ	11/14(火)15:00～23:59	171,598トン	4,418名	日本人他	カジュアル	ポートターミナル
にっぽん丸	11/20(月)9:00～17:00	22,472トン	400名	日本人	プレミアム	中突堤旅客ターミナル
にっぽん丸	11/23(木)9:00～17:00	22,472トン	400名	日本人	プレミアム	中突堤旅客ターミナル
MSCベリッシマ	11/24(金)14:00～20:00	171,598トン	4,418名	日本人他	カジュアル	ポートターミナル
ダイヤモンド・プリンセス	11/29(水)6:30～19:00	115,906トン	2,706名	日本人他	プレミアム	ポートターミナル

※寄港時間の詳細（入港時間・出港時間）は、天候等により変更になる場合があります。最新情報は神戸市港湾局ホームページにてご確認ください。

神戸市：客船入港予定 (kobe.lg.jp)

※本資料では参考として客船の「定員数」を掲載しています。実際の「乗船客数」とは異なりますのでご注意ください。

※客船のランクについてはクルーズの価格帯で分類され、一般的に ラグジュアリー>プレミアム>カジュアル の順となります。



▲スター・ブリーズ



▲MSCベリッシマ



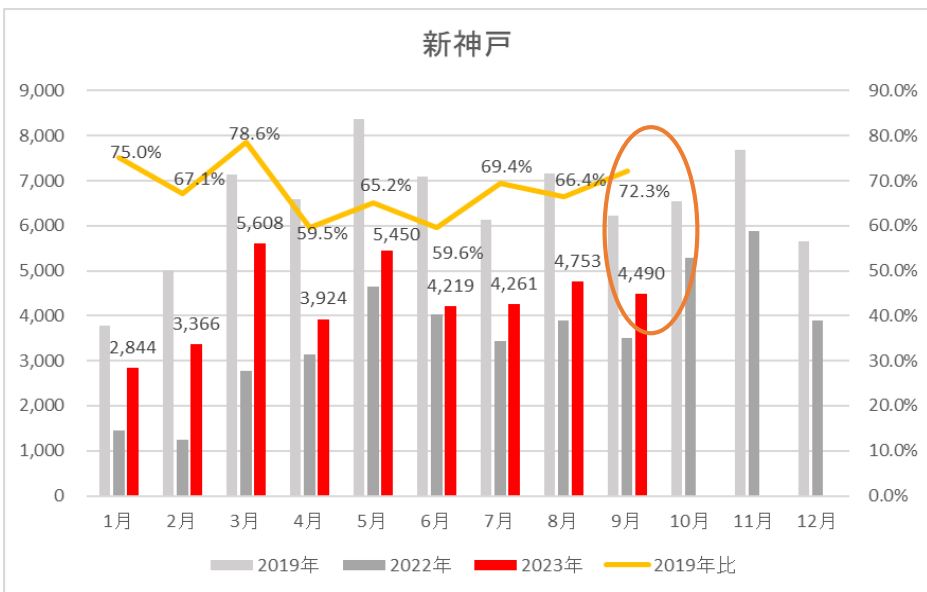
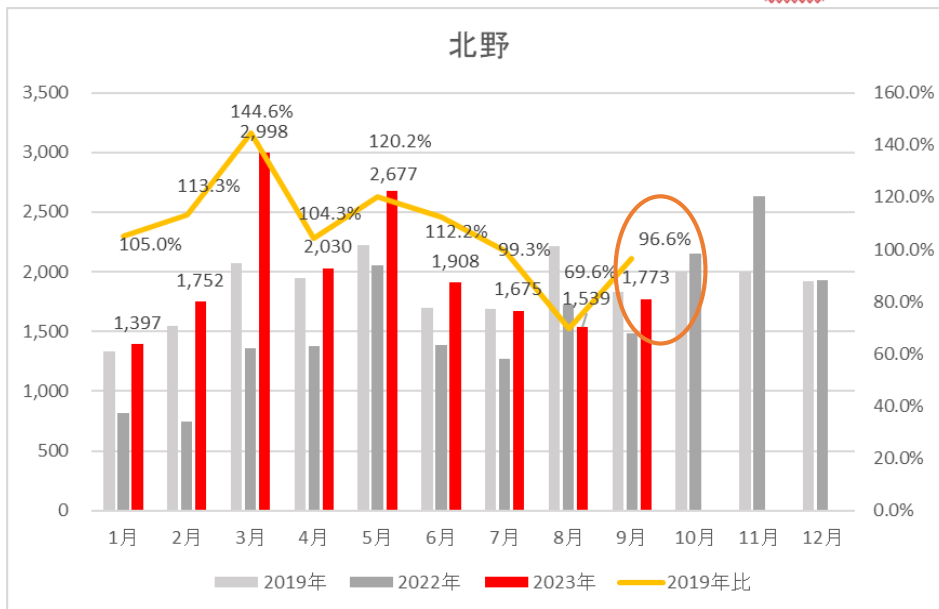
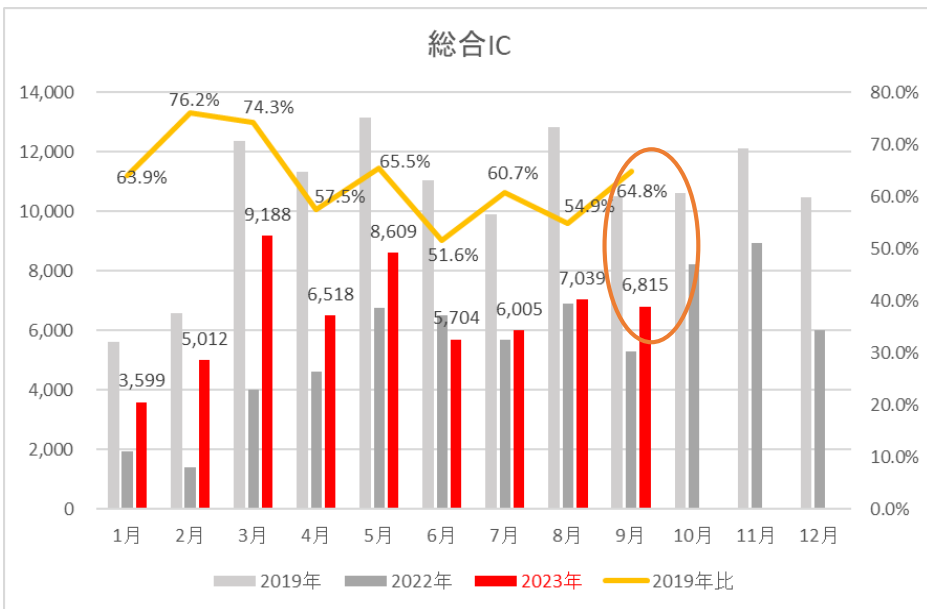
▲セブンシーズ・エクスプローラー



▲ダイヤモンド・プリンセス

神戸市内観光に関する情報
～神戸観光局オリジナルデータ～

市内観光案内所 国内観光客案内件数 (2023.9)



○総合インフォメーションセンター (JR三宮駅東口南)

9月連休を中心に来館、2019年比64.8%。

○北野観光案内所 (北野異人館街)

残暑にも関わらず賑わう日が多く2019年比96.6%。
10/1～「風見鶏の館」長期休館。

○新神戸駅観光案内所 (JR新神戸駅構内、改札前)

教育旅行等の団体ツアー客が目立つ。

9月案内所全体件数 13,331件 ⇒ 前月比 111% 2019年比 60.0%

○ 総合インフォメーションセンター

9-18時の時短営業

- 〔件数状況〕 ・ 9月中下旬～10月中旬は平日290件ほど・休日480件ほど。
- 〔客層〕
 - ・ アジア系（中国人割合増）、欧米系旅行者。個人旅行者目立つ。
 - ・ クルーズ船乗客。（アジア系外国人の割合高い）
- 〔行き先〕
 - ・ 国内、ハーブ園・県立美術館・アトア・六甲ミーツアート・みなとやま水族館など。
 - ・ アジア系、どうぶつ王国・アンパンマンミュージアム・アウトレット・異人館など。
 - ・ 欧米系、ニジゲンノモリ・ハーブ園・港クルーズ・バスで遠方へ（淡路島・徳島・高知）
- 〔内容〕
 - ・ 10月～11月にかけての旅行計画の相談。暑さが和らぐと国内の年配層が増える。
 - ・ クレームや高圧的な電話での問合せに苦勞するケース有。

○ 北野観光案内所

通所営業時間

9-18時（3月～10月）

9-17時（11月～2月）

- 〔客数状況〕 ・ 9月中下旬～10月中旬は平日90件ほど・土日120件ほど。
- 〔客層〕
 - ・ 国内観光客は関東、中部、北陸、九州など多くのエリアから訪れる。
 - ・ インバウンドは、中国・韓国・台湾が上位の他、タイ・オーストラリア・ドイツなど。
- 〔行き先〕
 - ・ 国内、北野の後はハーブ園に行く方が多数。夜景スポットの質問あり。
 - ・ アジア系、各異人館・ハーブ園など。
 - ・ 欧米系、各異人館・布引の滝・ハーブ園・有馬・六甲山など。
- 〔内容〕
 - ・ 9月連休は残暑厳しい中、国内外の多くの観光客が立ち寄る。
 - ・ 10/1～風見鶏の館修復工事のため長期休館。駆け込みで訪れる方もあり、人気の高さを実感。

○ 新神戸駅観光案内所

9-17時の通常営業

- 〔客数状況〕 ・ 9月中下旬～10月中旬は平日170件ほど、土日250件ほど。
- 〔客層〕
 - ・ 国内家族連れ、女性グループ、団体ツアー客、クルーズ船乗客、MICE参加者。
 - ・ アジア系以外では中東、欧米系外国人、個人客・ツアー客。
- 〔行き先〕
 - ・ 国内、女性グループで神戸を起点に淡路島・姫路・大阪を周遊。
 - ・ アジア系、アウトレット・淡路島方面など。
- 〔内容〕
 - ・ 欧米系、布引、六甲山、摩耶・有馬の問合せ多数。
 - ・ 繁忙日のロッカー不足が問題。
 - ・ ノープランでの行先相談、聴き馴染みのないホテルの案内等で対応時間を要する。

市内観光案内所 国籍別窓口対応状況 (2023.9)

国・地域		総合IC	北野	新神戸
アジア	韓国	391	197	45
	中国	424	104	61
	台湾	290	88	46
	香港	255	50	25
	タイ	31	8	59
	シンガポール	96	10	49
	マレーシア	42	8	31
	インドネシア	9	1	30
	フィリピン	42	1	26
	ベトナム	4	2	0
	インド	23		14
	パキスタン			
	バングラデシュ			
その他アジア	834	4	122	
中東	イスラエル	5		14
	トルコ		2	
	イラン			
	その他中東	4	2	
ヨーロッパ	英国	27	6	19
	フランス	35	14	44
	イタリア	13	10	18
	ロシア		5	
	ギリシャ			
	アイルランド		1	3
	その他ヨーロッパ	373	11	107
アフリカ	南アフリカ共和国			
	エジプト			
	その他アフリカ	2		2
北アメリカ	米国	65	21	112
	カナダ	23		23
	メキシコ	3		12
	その他北米	14		
南アメリカ	ブラジル		1	6
	アルゼンチン			
	コロンビア	1		2
	その他中南米	18		4
オセアニア	オーストラリア	44	13	90
	ニュージーランド	6		8
	その他オセアニア			
地域不明		7		433
		(人) 3081	559	1405

〔総合ICより概況〕

- ・外国籍利用者3,081人、前月比88%。
コロナ禍以前2019年同月比67%。
- ・9/28～9/30秋夕（チェソク）の影響で、韓国人観光客が増加。
- ・国慶節の大型連休に加え、9月は中国船籍の客船が初入港したが、中国人観光客の大幅な増加傾向は見受けられなかった。
- ・香港からの50代夫婦が、「のどの痛み」のため病院の紹介依頼。宿泊先のホテルスタッフに連絡して対応を依頼。
- ・アメリカ人男性より、お土産としてラッキーキャット（招き猫）を求める問合せ。

〔北野観光案内所より概況〕

- ・外国籍利用者559人、前月比70%。
コロナ禍以前2019年同月比52.4%。
- ・アジア系が約85%、うち韓国40%、中国20%、台湾20%、香港10%。
8月度に比べて9月度は▲229人の減少。厳しい残暑が影響している事が一因と思われる。
- ・韓国の方より北野天満神社のご祭典についての質問や、風見鶏の館に関する質問があった。

〔新神戸観光案内所より概況〕

- ・外国籍利用者1,405人、前月比88.6%。
コロナ禍以前2019年同月比88%。
- ・神戸に宿泊のお客様は少ない。数時間滞在して、大阪や京都に宿泊される方がほとんど。夜、宿泊先へ行くため、新幹線の最終の時間を確認に来られることが多い。
- ・神戸の目的は、神戸ビーフと言われる方がほとんどで、行先で決めておられるのは、**布引ハーブ園と布引の滝**であることが多い。少数だが、竹中大工道具館もあり。神戸と姫路をセットで訪れる方も散見される。
- ・モスクの場所をたずねられることが増えてきている。
- ・現金を引き出せるところはどこか？などお金に関する相談が多く、キャッシュレスがまだ十分に浸透していないと感じられる。

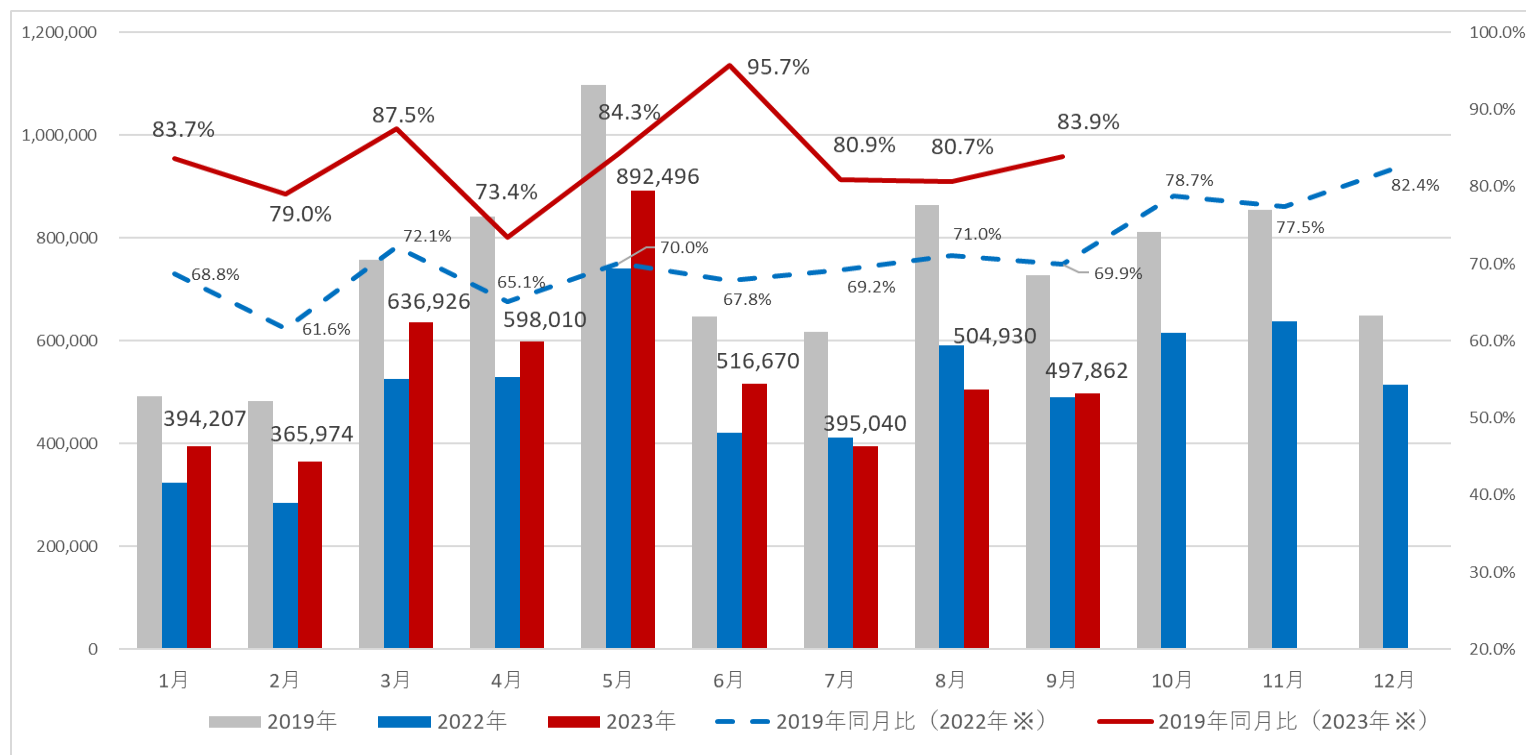
9月案内所全体件数 5,045件 ⇒ 前月比90.8%
2019年比69.3%

主要市内観光施設来場者数（2023.9）

- ・ 9月の来場者数は、引き続き約8割で推移。神戸市立博物館が臨時休館（9/11～2/9）。シルバーウィークには平日の倍の入館者数にのぼった施設もあった。
- ・ インバウンドは台湾、香港、韓国からの来場者数が目立っており、中国の戻りは弱い。

来場者数(人)

2019年比



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1~12月計
2019年（ポートタワー・スマスイ・市立博物館含む）	492,867	483,116	757,624	841,024	1,096,996	647,632	618,160	864,393	727,418	811,994	854,900	650,164	8,846,288
2022年	323,867	285,141	525,080	530,110	741,675	421,305	411,176	590,543	489,843	616,308	637,940	514,591	6,087,579
2019年同月比（2022年）※	68.8%	61.6%	72.1%	65.1%	70.0%	67.8%	69.2%	71.0%	69.9%	78.7%	77.5%	82.4%	71.5%
2023年	394,207	365,974	636,926	598,010	892,496	516,670	395,040	504,930	497,862				
2019年同月比（2023年）※	83.7%	79.0%	87.5%	73.4%	84.3%	95.7%	80.9%	80.7%	83.9%				

※2019年比は、比較時点で改修中の施設除いて比較（2022年・2023年通年：ポートタワー、2023年6月～：須磨海浜水族園）

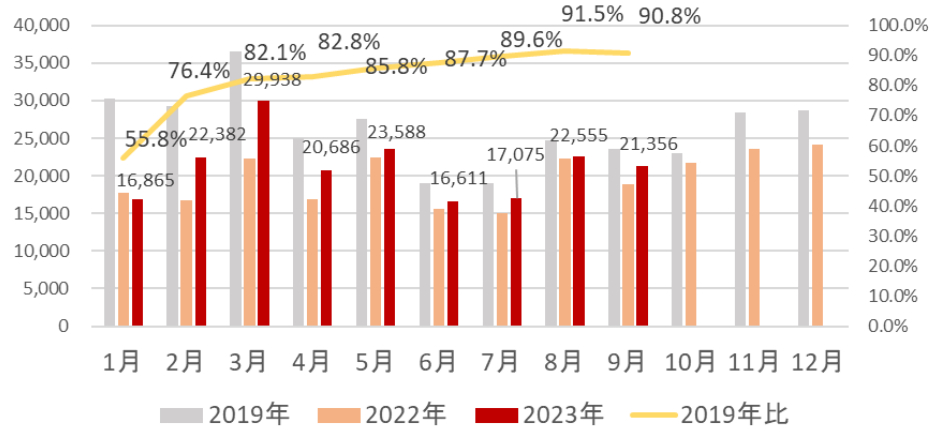
※2019年の来場者数自体には、2022年・2023年時点で改装中の施設（ポートタワー・須磨海浜水族園）を含んで記載。

出典：神戸市観光企画課・神戸観光局調査

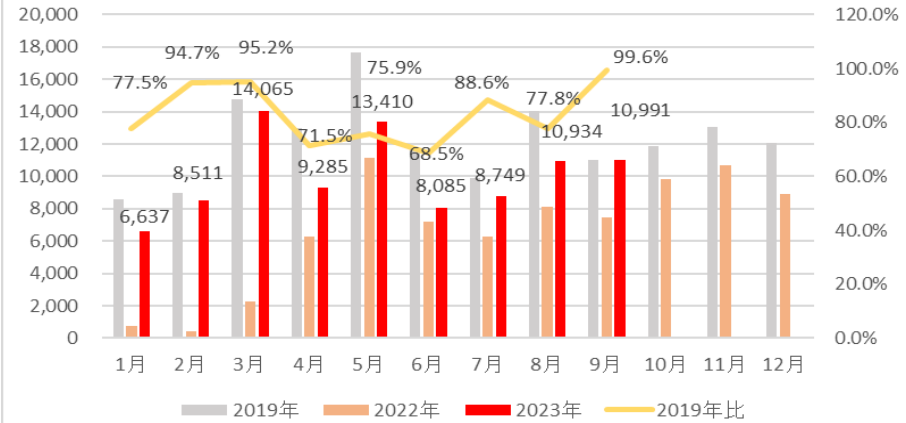
集計対象施設：全21施設（ラインの館、風見鶏の館、王子動物園、神戸市立博物館、六甲山牧場、金の湯、銀の湯、須磨海浜水族園など）

所管施設入館者数（金の湯・銀の湯） / （萌黄の館）

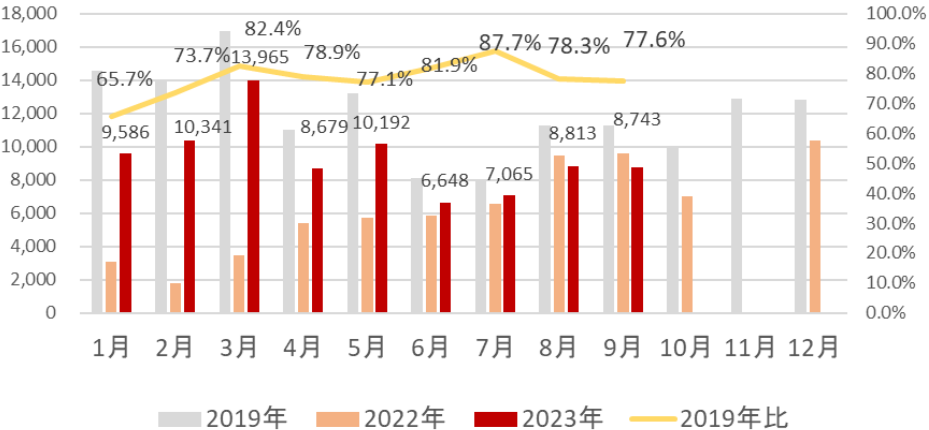
金の湯



萌黄の館



銀の湯



【コメント】

入館者数は2019年（コロナ前）の99.6%まで回復。
外国人・国内観光客との総数で入館者数は増えている。



【コメント】

平日の利用客は外国人が目立った。
休日の午後は混雑することもあるが1日を通した利用者数は2019年度に及ばなかった。



神戸市内大型施設の主な催事情報(11～12月) 10月24日時点

※1,000名以上収容可能施設から主なイベント情報を抽出
 ※コンサート等については、アーティスト名のみを表記
 ※神戸観光局経営推進部調べ



11月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール	神戸文化ホール ※一部抜粋	総合運動公園 ※一部抜粋
1週目	2～5日 第31回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023)	2～5日 第31回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2023)	4～5日 Bリーグ 2023-24 B2リーグ 戦 神戸ストークスVS、滋賀レイクス	2日 葉加瀬太郎 3～5日 アイドリッシュセブン 追加公演	10月31～1日 劇団文化座「炎の人」 4日 混声合唱団コーロKSC創立30周年記念第13回定期演奏会	3～4日 全国高等学校バスケットボール選手権大会 (ウィンターカップ 2023) 5日 糸東会関西地区選手権大会(空手)
2週目	6～7日 第45回日本バイオマテリアル学会大会	10～12日 ワールドアトリエセーブル	10～12日 TOHOSHINKI Bigeast FANCLUB EVENT 2023 ~WHITE GARDEN~		10日 書と音楽の集い 11日 神戸市室内管弦楽団第160回定期演奏会『ヴァイオリンの魔法』	10～13日 全国選抜高校テニス近畿大会 (団体)
3週目	12日 瀬戸内海環境保全特別措置法制定50周年記念式典 16～17日 環境と新冷媒国際シンポジウム2023	14日 ひょうご障害者ワークフォーラム2023		12日 ゴダイゴ	15日 KOBEJAZZ100 Concert Vol.2	
4週目	19日 神戸マラソン2023 23～24日 第34回日本小児整形外科学会学会	19日 神戸マラソン2023	19日 神戸マラソン2023	19日 クレイジーケンバンド 20日 インド・ミュージカル「ムンバイ☆スター」 22日 東京スカパラダイスオーケストラ	19日 男声合唱団コール淡水・神戸 第12回演奏会 23日 Ballet Company West Japan「ライモンダ」全幕	23日 神戸市バドミントン協会レディース第41回神戸オープン大会 25日 第47回兵庫県高等学校総合文化祭マーチングバンド・パトントワリング部門発表会
5週目	25～26日 第18回医療の質・安全学会学術集会	25～26日 第18回医療の質・安全学会学術集会 25日 あさがくナビの就職博 インターンシップ&オープン・カンパニー編	25～26日 CNBLUE AUTUMN CONCERT 2023 ~PLEASURES~	26日 若柳吉由二 27日 【延期】BAR夢想歌 ～ちょっとのぞいてみませんか～	26日 神戸学院大学吹奏楽部 第47回定期演奏会	26日 加盟リーグ卓球大会
12月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール	神戸文化ホール ※一部抜粋	総合運動公園 ※一部抜粋
1週目	1～3日 第41回日本獣医師会獣医学術学会年次大会			1日 Tani Yuuki 2日 来生たかお	2日 和太鼓松村組 神戸公演 2023「光輪(こうりん)」	
2週目	6～8日 第46回日本分子生物学会年会 9～10日 CVMW2023 KOBE 心血管代謝週間	6～8日 第46回日本分子生物学会年会 9日 マイナビ仕事研究&インターンシップフェア 神戸会場	5日 SPITZ JAMBOREE TOUR 6日 '23-'24 "HIMITSU STUDIO" 7日 MÅNESKIN Rush! WORLD TOUR 9日 MARSHMELLO JAPAN TOUR 2023	3日 鼓童	9日 市民の第九2023 10日 西神戸吹奏楽団第44回定期演奏会 10日 28th Jr.Dance Collection in KOBE	3日 第29回神戸市西区空手道選手権大会 8～10・15日 近畿私学高校テニス選手権大会 9～10日 フットサルフェスタ2023
3週目	14～16日 第44回日本臨床薬理学会学術総会 第97回日本薬理学会年会	14～16日 第44回日本臨床薬理学会学術総会 第97回日本薬理学会年会		16日 布施明	16日 神戸文化ホール開館50周年記念事業 ハイドン：オラトリオ《天地創造》	16日 神戸市高等学校ソフトテニスインドア大会
4週目	17日 看護薬理学カンファレンス 2023 in 神戸			23日 初音ミク シンフォニー2023	23～24日 貞松・浜田バレエ団 クリスマス特別公演「くるみ割り人形と秘密の花園」全幕	17日 2023年度兵庫県社会人バスケットボール連盟リーグ戦 21～23日 第41回近畿私立高等学校男女バレーボール選手権大会
5週目			31日 湘南乃風 20周年記念 2023-2024カウントダウンライブ at 神戸～今年も1年皆様お疲れ様でした	24日 ゴンチャロフ製菓株式会社 Presents 第九コンサート2023 28日 角松敏生		25～28日 全国私立中学校テニス選手権大会 26～28日 第14回西日本高専バスケットボール大会

※各催事の集客予定人数・販売状況については、当方および各施設・主催者にお問い合わせいただいても一切お答えできません。

參考資料集

2023年9月訪日外客数の各国・地域別の内訳(対2019年比)

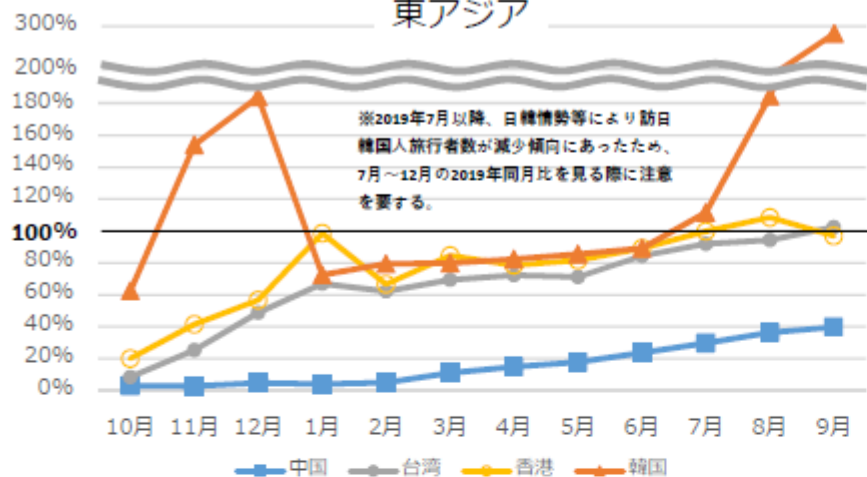
国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2019年 9月	2023年 9月	伸率(%)	2019年 1月～9月	2023年 1月～9月	伸率(%)
総数	Grand Total	2,272,883	2,184,300	-3.9	24,417,820	17,374,300	-28.8
韓国	South Korea	201,252	570,400	183.4	4,934,315	4,894,800	-0.8
中国	China	819,054	325,600	-60.2	7,402,578	1,597,800	-78.4
台湾	Taiwan	376,186	385,300	2.4	3,736,530	2,974,600	-20.4
香港	Hong Kong	155,927	151,100	-3.1	1,660,886	1,483,600	-10.7
タイ	Thailand	62,057	50,500	-18.6	868,443	631,100	-27.3
シンガポール	Singapore	29,147	38,100	30.7	284,644	336,400	18.2
マレーシア	Malaysia	28,778	27,500	-4.4	309,491	258,300	-16.5
インドネシア	Indonesia	25,021	32,300	29.1	282,269	283,200	0.3
フィリピン	Philippines	37,758	42,800	13.4	402,119	410,300	2.0
ベトナム	Vietnam	38,325	43,000	12.2	376,043	439,600	16.9
インド	India	15,895	14,100	-11.3	135,365	119,500	-11.7
豪州	Australia	60,498	64,000	5.8	449,228	401,900	-10.5
米国	U.S.A.	127,190	156,600	23.1	1,277,007	1,466,100	14.8
カナダ	Canada	28,525	39,800	39.5	269,147	298,800	11.0
メキシコ	Mexico	6,282	10,100	60.8	51,367	63,200	23.0
英国	United Kingdom	49,580	29,700	-40.1	290,419	230,600	-20.6
フランス	France	26,530	22,000	-17.1	252,325	201,200	-20.3
ドイツ	Germany	22,768	26,300	15.5	177,104	172,100	-2.8
イタリア	Italy	13,354	14,600	9.3	124,492	112,000	-10.0
スペイン	Spain	11,472	13,200	15.1	98,674	83,000	-15.9
ロシア	Russia	10,454	4,300	-58.9	83,720	27,100	-67.6
北欧地域	Nordic Countries	9,721	9,800	0.8	103,880	81,800	-21.3
中東地域	Middle East	8,678	13,500	55.6	67,815	84,100	24.0
その他	Others	108,431	99,700	-8.1	779,959	723,200	-7.3

※2023年5月の公表から、北欧地域(スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド)の推計値の公表を開始。

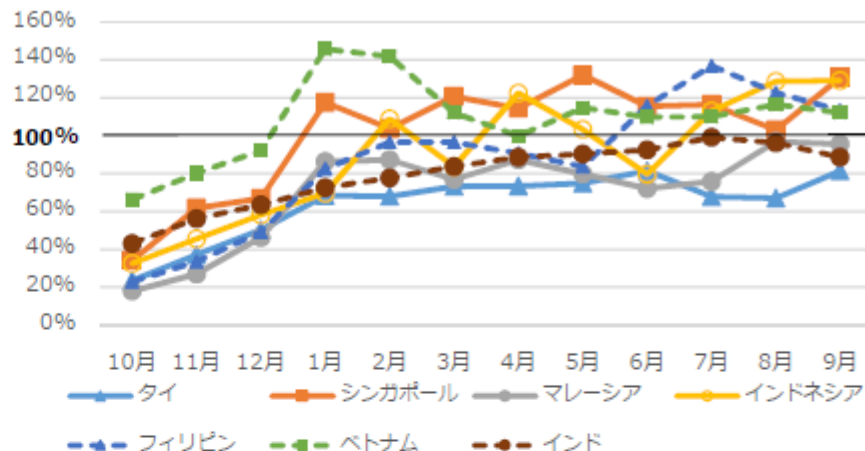
※中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国(サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート)

2022年10月～2023年9月訪日外客推移（2019年同月比）

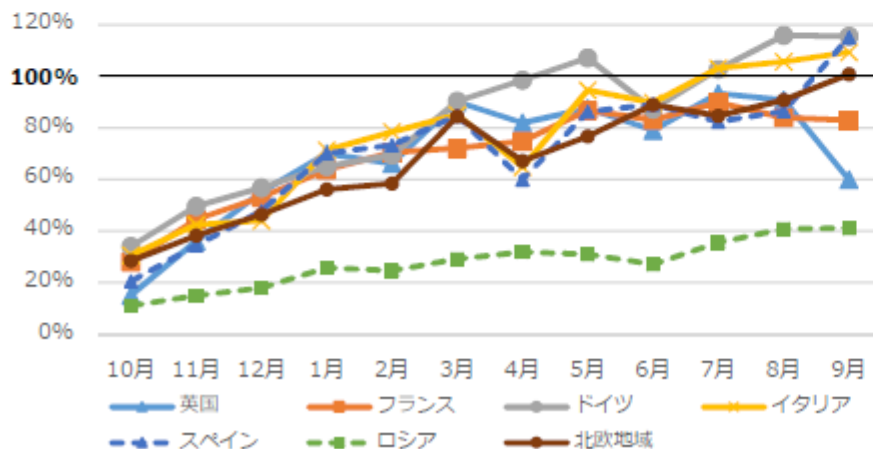
東アジア



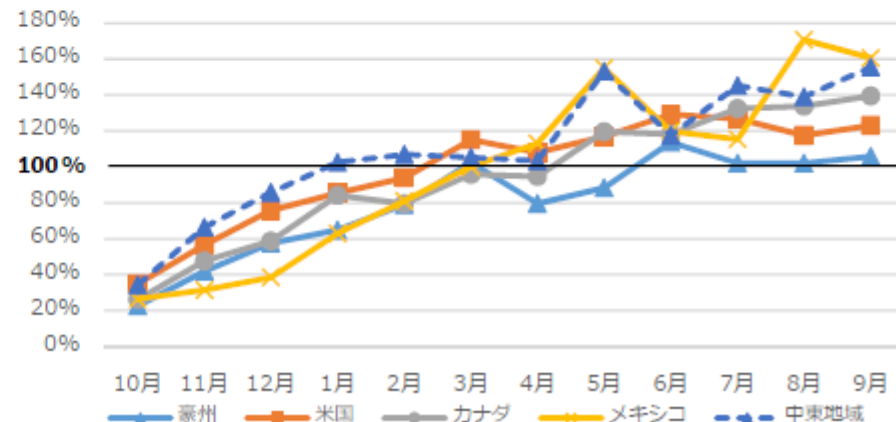
東南アジア



欧州・北欧



北米・豪州・中東

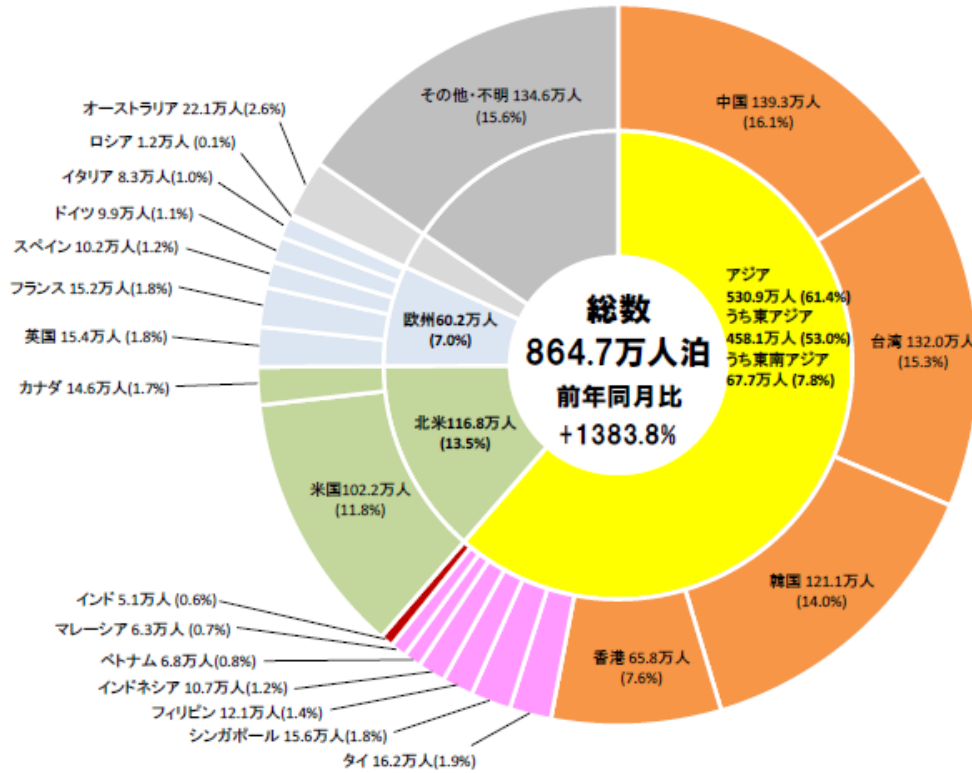


(注) 2020年から拡大した新型コロナウイルスによる影響を除くため、1月以降も繰り返し2019年の数値と比較している。

国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数（R5.7月）

- 令和5年7月の国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数は、第1位が中国、第2位が台湾、第3位が韓国、第4位が米国、第5位が香港で、上位5ヵ国・地域で全体の64.8%を占める。
- 2019年同月比でみると中国の回復が遅く見えるが、中国は先月比150%UPであり着実に回復。東南アジアや欧米豪の一部など、上位20か国のうち半数が2019年を上回った。

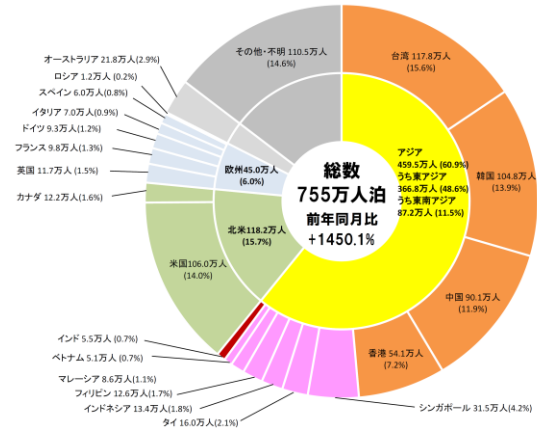
国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数（令和5年7月（第2次速報））



順位	国籍（出身地）	合計		2019年同月比	前年同月比
		(人泊)	シェア		
第1位	中国	1,392,740	16.1%	-57.9%	+3338.9%
第2位	台湾	1,319,860	15.3%	+0.8%	+9097.6%
第3位	韓国	1,210,980	14.0%	+22.0%	+2568.5%
第4位	米国	1,021,570	11.8%	+56.6%	+670.5%
第5位	香港	657,850	7.6%	-2.4%	+8887.0%
第6位	オーストラリア	221,250	2.6%	+28.5%	+2039.7%
第7位	タイ	161,750	1.9%	-15.5%	+879.7%
第8位	シンガポール	155,800	1.8%	+36.6%	+780.2%
第9位	英国	154,160	1.8%	+28.7%	+1127.4%
第10位	フランス	152,360	1.8%	+12.5%	+1045.6%
第11位	カナダ	146,390	1.7%	+66.4%	+2176.7%
第12位	フィリピン	120,590	1.4%	+67.0%	+782.8%
第13位	インドネシア	107,290	1.2%	+16.6%	+999.3%
第14位	スペイン	101,630	1.2%	-3.8%	+3516.7%
第15位	ドイツ	98,670	1.1%	+13.6%	+480.8%
第16位	イタリア	82,820	1.0%	+12.8%	+1411.3%
第17位	ベトナム	68,170	0.8%	-6.4%	+145.8%
第18位	マレーシア	63,000	0.7%	-1.9%	+1045.5%
第19位	インド	51,450	0.6%	+4.0%	+347.8%
第20位	ロシア	12,470	0.1%	-65.1%	+505.3%
	その他	999,280	11.6%	+16.7%	+772.4%
	合計	8,646,540	100.0%	-8.6%	+1383.8%

【参考】前月分

国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数（令和5年6月（第2次速報））



※ 合計は国籍（出身地）不詳を含む。
 ※ 従業者数10人以上の施設に対する調査から作成。
 ※ 2019年同月比及び前年同月比は、確定値との比較である。

都道府県別外国人延べ宿泊者数 (2023.5～2023.7)



(延べ宿泊者数単位：人泊)

【順位】

順位	5月			6月			7月		
	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比
1	13東京都	3,317,990	136.3%	13東京都	3,671,020	151.7%	13東京都	4,116,960	156.2%
2	27大阪府	1,470,150	95.6%	27大阪府	1,542,410	98.1%	27大阪府	1,812,690	103.0%
3	26京都府	990,340	95.8%	26京都府	975,890	99.0%	26京都府	1,136,360	106.5%
4	40福岡県	336,350	97.8%	01北海道	464,340	71.5%	01北海道	716,600	81.3%
5	01北海道	364,230	60.6%	40福岡県	423,400	107.3%	47沖縄県	461,320	52.7%
6	47沖縄県	334,900	49.2%	47沖縄県	364,910	51.7%	40福岡県	416,050	108.8%
7	12千葉県	236,790	56.1%	12千葉県	322,520	69.5%	12千葉県	354,520	66.3%
8	14神奈川県	202,570	79.3%	14神奈川県	209,900	86.2%	14神奈川県	243,110	81.0%
9	23愛知県	146,170	46.6%	23愛知県	163,700	48.6%	23愛知県	178,730	53.8%
10	34広島県	110,880	89.0%	44大分県	92,690	99.7%	34広島県	125,460	98.6%
11	20長野県	107,870	71.3%	34広島県	91,460	93.0%	19山梨県	115,220	57.7%
12	21岐阜県	106,880	69.3%	19山梨県	90,850	52.9%	44大分県	94,740	105.6%
13	17石川県	102,380	106.7%	28兵庫県	78,110	64.6%	22静岡県	94,430	34.6%
14	19山梨県	100,050	55.9%	22静岡県	75,440	34.4%	21岐阜県	90,820	74.5%
15	44大分県	92,320	91.7%	21岐阜県	73,830	62.8%	28兵庫県	80,660	64.4%
16	28兵庫県	91,950	77.7%	17石川県	73,660	106.5%	20長野県	70,120	78.2%
17	22静岡県	74,110	33.5%	43熊本県	72,670	98.0%	43熊本県	68,920	90.8%
18	43熊本県	72,940	94.9%	20長野県	68,970	71.3%	17石川県	64,780	73.7%
19	37香川県	38,890	48.7%	04宮城県	44,450	105.7%	30和歌山県	52,030	85.4%
20	04宮城県	38,650	101.7%	42長崎県	36,790	51.2%	04宮城県	43,800	98.7%
21	30和歌山県	38,580	56.2%	37香川県	35,990	68.2%	42長崎県	41,710	64.5%
22	42長崎県	34,890	46.1%	30和歌山県	33,710	62.5%	37香川県	39,080	53.4%
23	09栃木県	34,570	119.9%	09栃木県	30,690	157.1%	09栃木県	34,960	164.5%
24	16富山県	33,790	57.0%	33岡山県	24,130	58.0%	33岡山県	31,670	70.4%
25	29奈良県	28,660	56.1%	16富山県	23,980	72.8%	29奈良県	31,600	53.3%
26	33岡山県	23,180	55.9%	46鹿児島県	23,190	38.3%	46鹿児島県	28,950	45.0%
27	46鹿児島県	22,810	33.1%	29奈良県	21,140	47.1%	03岩手県	20,520	98.3%
28	38愛媛県	16,670	91.2%	07福島県	17,290	169.3%	02青森県	19,750	69.6%
29	15新潟県	16,390	92.2%	03岩手県	16,540	99.9%	10群馬県	18,990	114.3%
30	11埼玉県	14,840	83.0%	15新潟県	15,110	83.4%	25滋賀県	18,990	55.4%

順位	5月			6月			7月		
	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比
31	08茨城県	14,720	69.1%	10群馬県	14,590	71.5%	11埼玉県	17,680	78.5%
32	10群馬県	14,150	46.0%	25滋賀県	14,190	43.7%	07福島県	17,430	131.3%
33	07福島県	14,020	118.3%	02青森県	13,820	70.7%	15新潟県	16,850	54.3%
34	25滋賀県	13,820	36.8%	38愛媛県	13,810	99.3%	08茨城県	16,200	84.2%
35	24三重県	12,820	38.0%	11埼玉県	13,720	74.8%	24三重県	14,260	34.4%
36	41佐賀県	12,190	37.8%	08茨城県	13,250	84.9%	38愛媛県	13,930	76.5%
37	02青森県	12,030	55.3%	24三重県	12,880	33.3%	45宮崎県	12,630	55.9%
38	03岩手県	11,470	52.8%	41佐賀県	9,970	31.5%	16富山県	12,200	41.9%
39	36徳島県	10,720	94.0%	39高知県	8,280	118.5%	41佐賀県	11,110	34.8%
40	39高知県	10,030	138.3%	36徳島県	8,100	83.4%	36徳島県	10,890	114.2%
41	45宮崎県	7,960	30.7%	05秋田県	6,940	98.3%	39高知県	10,150	127.2%
42	35山口県	6,490	73.0%	45宮崎県	6,770	31.2%	31鳥取県	7,570	40.9%
43	06山形県	6,480	62.7%	06山形県	6,100	52.4%	05秋田県	7,390	76.5%
44	18福井県	6,450	71.4%	35山口県	5,670	69.0%	06山形県	7,310	61.1%
45	05秋田県	4,420	58.9%	31鳥取県	4,990	32.2%	35山口県	6,650	80.6%
46	32島根県	3,840	46.0%	32島根県	4,080	42.2%	18福井県	4,210	65.6%
47	31鳥取県	3,520	24.1%	18福井県	3,690	42.7%	32島根県	4,120	48.9%
全国		8,765,940			9,339,670			10,814,130	

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」(令和5年7月・第2次速報)

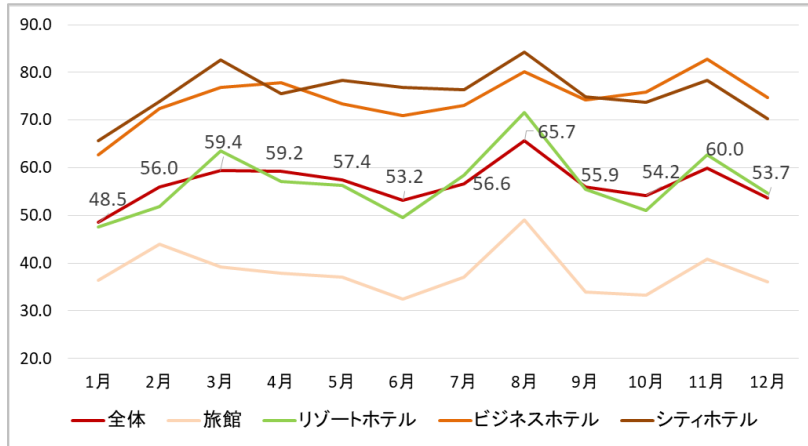
- 外国人延べ宿泊者数の1～3位は、4月以降、東京都、大阪府、京都。これらトップ3はコロナ前を超えて回復。
- 兵庫県は、2019年6月比では6割程度の回復率であったものの、延べ宿泊者数の順位としては、13～16位で推移。
- 神戸と同様に政令市の横浜市、名古屋市がある神奈川県、愛知県は、それぞれ約8割、約5割の回復率となるなど、依然、地域によってばらつきが生じている。

宿泊タイプ別客室稼働率

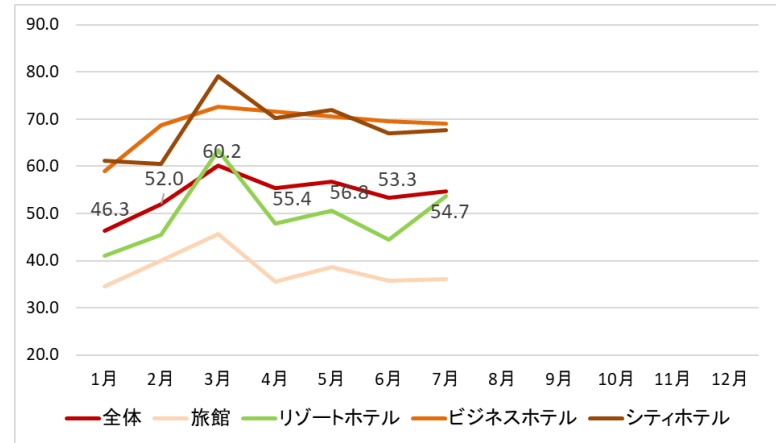
2019年／2023年比較

【兵庫県】

(2019年)

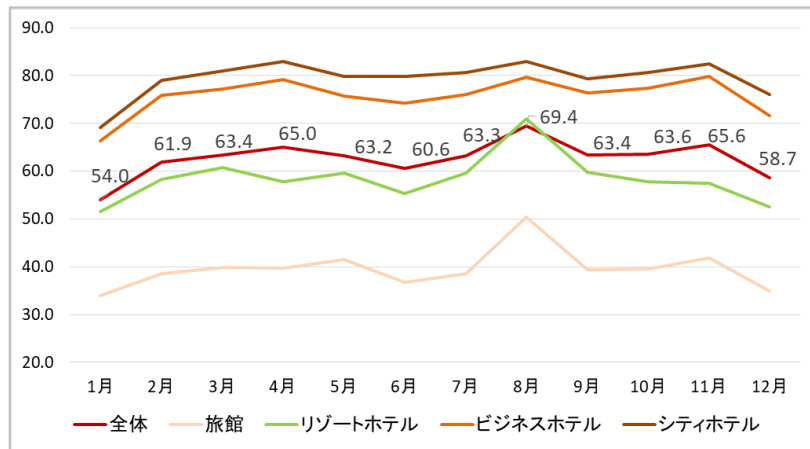


(2023年)

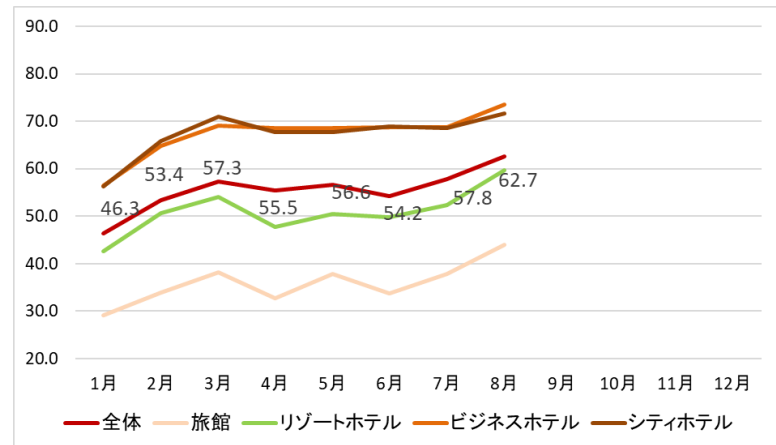


【全国】

(2019年)



(2023年)



世界の運航状況

2019年10月1週目比 2023年10月1週目比

世界	-1.6%	-1.1%
西欧	-0.5%	-1.0%
東欧	-15.9%	-1.7%
北米	3.3%	1.2%
中米	9.9%	0.7%
南米	2.7%	-1.1%
東アジア	-2.2%	-3.6%
東南アジア	-20.4%	-1.2%
中東	2.3%	-1.2%
太平洋(豪州ほか)	-5.2%	0.0%

出典: OAG FLIGHT DATAより抜粋・算出

<https://www.oag.com/coronavirus-airline-schedules-data?hsLang=en-gb>

世界の運航状況は、総席数が若干の減少傾向である。特に西ヨーロッパの航空会社が季節の基準に沿って座席数を削減している。

国内線のキャパシティに関しては南米が削減している一方、北米は座席数を増やしている。

世界の座席利用率(2023年8月)

※ポイントは2019年同月差

地域	合計	国際線	国	国内線
アジア・太平洋	82.2% -1.8p	83.3% 1.3p	日本	82.5% 1.3p
欧州	87.6% -1.4p	75.0% -5.5p	中国	79.1% -8.5p
北米	85.5% -1.4p	87.7% 0.6p	インド	83.9% -1.4p
中南米	85.1% 1.8p	86.1% 2.2p	米国	84.4% -2.2p
中東	83.0% 1.0p	83.1% 0.7p	豪州	82.3% 0.3p
合計	84.6% -1.1p	85.4% -0.3p	合計	83.5% -2.2p

出典: IATA「Air Passenger Market Analysis」より抜粋

8月は台風ハヌンが東アジアを中心に大規模な影響をもたらし、座席数・利用可能数共に減少した。
米国はコロナ前を上回る伸長。

関西国際空港・神戸空港の利用状況(2022年9月～2023年8月) 10月12日時点



関西国際	2022年 9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
総旅客数(人)	648,397	885,510	1,136,004	1,352,147	1,390,798	1,456,834	1,756,841	1,651,773	1,808,219	1,892,675	2,123,912	2,265,940
2019年比(%)	-73	-65	-55	-47	-47	-42	-39	-40	-34	-30	-24	-29
国際線 発着数(回)	3,683	4,284	5,544	6,242	6,227	6,197	7,496	8,227	8,660	8,786	9,663	9,903
2019年比(%)	-71	-66	-57	-55	-55	-48	-44	-38	-36	-34	-30	-28
外国人 旅客数(人)	70,856	206,106	471,298	663,438	753,219	736,776	808,116	960,417	989,324	1,095,837	1,202,909	1,211,871
2019年比(%)	-93	-84	-64	-50	-47	-46	-43	-39	-33	-28	-22	-12
国内線 旅客数(人)	502,916	583,702	560,512	560,251	502,333	552,232	698,171	524,658	574,587	539,419	597,974	619,088
2019年比(%)	-14	+2	-2	+1	-9	+5	+9	-8	-4	-2	-2	-6
神戸	2022年 9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
国内線発着 回数(回)	2,785	3,106	2,858	3,058	2,812	2,755	3,014	2,788	2,845	2,744	3,059	2,919
2019年比(%)	±0	+1	±0	±0	+16	+25	+21	+13	+8	+14	+19	+7
国内線 旅客数(人)	256,541	293,612	286,507	279,040	253,485	263,184	316,365	262,558	290,845	275,898	290,661	313,651
2019年比(%)	-14	+1	-4	±0	+2	+7	+10	+4	+5	+5	+3	-5

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。

出典: 関西エアポートニュースリリースより作成

神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率(2022年9月～2023年8月)

10月12日時点



路線	内容	9月	10月	11月	12月	23年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
新千歳	旅客数(人)	49,579	50,832	40,730	41,390	40,249	44,358	50,793	37,584	48,405	51,985	54,162	55,414
	利用率(%)	86.0	82.8	66.8	67.1	66.7	81.7	80.5	62.1	77.1	85.0	86.3	91.3
青森	旅客数(人)	3,300	3,636	2,764	2,475	2,054	2,358	3,965	2,654	3,674	3,550	3,566	4,113
	利用率(%)	67.7	69.8	54.8	49.1	40.8	50.2	76.1	52.7	70.5	70.4	68.5	81.7
花巻	旅客数(人)	2,663	2,558	2,732	2,597	2,405	2,166	3,863	2,560	3,023	3,022	3,304	4,168
	利用率(%)	54.7	49.3	56.9	52.4	49.2	50.0	78.1	52.5	59.2	60.0	63.4	82.7
仙台	旅客数(人)	15,202	17,488	17,487	16,337	13,382	14,349	18,112	14,971	17,174	15,719	14,945	18,479
	利用率(%)	73.4	79.7	82.3	74.4	62.0	73.7	83.9	70.5	78.2	74.0	68.1	88.5
新潟	旅客数(人)	1,731	2,127	1,811	1,534	1,163	1,583	2,632	209	1005	-	-	1,305
	利用率(%)	38.0	45.5	35.9	33.3	26.1	33.7	62.7	62.2	85.5	-	-	77.7
茨城	旅客数(人)	17,808	23,264	24,291	22,316	18,885	20,508	26,489	21,642	23,741	22,066	22,222	27,430
	利用率(%)	57.2	70.7	78.0	67.8	58.0	69.0	80.5	67.9	72.1	69.3	67.5	86.1
羽田	旅客数(人)	70,048	75,781	76,456	78,852	72,983	69,384	79,594	70,589	73,973	69,628	70,971	75,956
	利用率(%)	80.5	82.5	88.5	87.9	82.0	87.4	88.6	81.1	82.5	79.7	79.1	88.0
松本	旅客数(人)	5,512	7,086	7,233	5,873	5,086	5,610	7,479	5,912	7,350	6,729	7,489	7,906
	利用率(%)	56.7	68.2	73.6	62.4	50.5	61.8	73.0	58.7	70.7	66.8	71.9	78.5
高知	旅客数(人)	1,831	2,178	2,380	2,912	2,607	2,409	3,190	2,178	2,731	2,154	2,592	3,149
	利用率(%)	38.9	41.9	49.6	58.1	52.5	53.8	64.5	43.9	52.5	42.7	49.8	63.5
長崎	旅客数(人)	18,703	23,214	22,017	20,425	19,793	20,435	25,737	22,612	24,397	21,535	22,591	24,780
	利用率(%)	63.7	70.5	69.9	62.0	60.8	68.7	78.2	71.0	74.1	67.0	68.6	81.9
鹿児島	旅客数(人)	12,226	16,263	16,935	15,784	14,181	14,804	15,665	13,997	16,745	14,390	14,167	16,500
	利用率(%)	62.2	74.1	79.7	71.9	65.7	74.7	71.4	65.9	76.3	67.7	64.5	83.2
那覇	旅客数(人)	47,024	54,558	57,607	53,879	48,445	53,212	63,904	54,825	54,986	52,787	59,661	59,058
	利用率(%)	65.4	71.5	78.2	70.6	63.8	77.2	82.3	72.7	69.9	75.1	72.5	83.5
下地島	旅客数(人)	5,931	8,689	8,822	8,955	6,586	7,905	9,299	7,936	7,482	8,039	8,584	7,796
	利用率(%)	65.7	79.2	83.1	81.6	60.0	79.8	84.7	74.7	70.5	78.3	78.2	84.7